京城日報
廿八日夕刊
定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

◎青島還附は固執せず

聯合國不承諾の條件を獨逸は提出するの意志し青島還附要求は絶對に固執せざるも亞弗利加殖民地の還附は之を要求すべしと(桑港電報)

◎獨逸平和を熱望す 非常に自國不利の狀態に於て

目下獨逸に於て交渉せられたる確述に依れば獨逸は外國領土を欲せず又獨逸は勝に聯國海運業の爲めにダーダネルス海峽を公開すべく土耳其に勸告せんとす又獨逸は侵略及敵對同盟に對して保障を要求すと蓋し獨逸が非常に不利の狀態に於て平和を熱望せるは事實なり(倫敦電報)

◎内務次官更迭

二十七日左の通内務次官の交迭發表ありたり(東京特電)

從四位勳二等法學博士 水野錬太郎
任内務次官(一等)

内務次官 久保田政周
依願免本官

◎前東拓重役行賞

前東拓重役に對し二十七日左の如く行賞の御沙汰ありたり(東京特電)

前東洋拓殖會社副總裁 野田卯太郎
授旭日中綬章
前理事 林 市藏
前 井上孝哉
金五百圓下賜(各通)

◎政友と提携か

過般水野錬太郎氏の内務次官に任命せられたるは是れ現内閣と政友會との提携を暗示するものなりと觀測する者あり(東京電報)

◎石川縣當選者

石川縣能美郡開票の結果當選者左の如し(東京特電)

▲戸水寛人(政友) ▲淺野順平(憲政)
▲西村正則(政友) ▲櫻井兵五郎(憲政) ▲田中喜太郎(憲政)

◎山口補缺選擧

山口縣選出代議士小河源一氏は二十六日逝去に就き來春一月二十日前後に於て補缺選擧執行せらる可く政友派は前回に落選せる大岡育造氏を憲政會にては前代議士國光五郎氏を推すならんが何個に候補希望者あれば興味ある選擧を見るべし(東京特電)

◎警察權問題 鄭家屯事件交渉に於て 談話

伍總長就任と與に一氣呵成に決せらる可く期待されし鄭家屯事件交渉は依然行惱みの姿なるが難關は矢張り警察權問題にて之れに關しては諸種の報道あり最近の總華電報は日本は已に内蒙南滿に於ける軍隊教練の一事に就きては稍や讓歩を示せるも警察問題には猶前議を固執し支那政府は日本官吏の指揮に歸す而して此讓歩の意あり此案に據れば支那の警察は日本官吏は支那地方長官の聘傭に係り該長官の節制を受くる事とすと云へり又讓字紙具體報は鄭家屯交渉中の警權問題に就き伍總長は已に讓歩を示せり大略警士は總て支那人を用ふるも警部以上は日本人を用ひ而して署長は支那人側より之れを聘用し支那政府の管轄に歸せしむる事北京保安警察隊の例に於けるが如くせんとするに在り之れに對し日本公使は署長一席は必ず日本側より任命して關東都督の指揮に歸せしめんと主張し此點に於て彼我互に堅持して相下らずと云へり又或支那側政界通は警權問題は結局支那政府より讓歩するに至る可く即ち日本側主張の日本警官を準用する朝鮮式の警察權より讓りて支那巡捕を用ゐ日本警官之れを訓練指揮する大連式の警察權に改變せらる可しと觀測せる者多きも孰れも皆下馬評にして正鵠を得ざるが如し以上諸說は昨今北京政界に流布せらるゝより例の在京中の東三省公民代表者等大に驚愕し呂維東劉谷泉二人は二三日前外交部に駆附け伍總長に面して其眞僞を詰問せんとせし處伍總長は多忙の爲め秘參事官をして代接せしめたり秘氏は二人の質問に對して世上の諸說は皆虚妄なり目下該交渉は漸く頭緒に接及したるも未だ何等要點に説及せず之れを要するに此案交渉は論議が何時に及ぶとも主權の關係ある警察、軍事等は堅持して萬々讓歩することを能はざるのみならず前夏次長が口頭を以て承認せし輕微事項に對しても今後力爭して其恢復を圖る積りなれば諸君安神して其の結果を待つ可き旨を告げたりとて該電の如く該代表者は之れを公民會本部に特報し來れり(天津)

◎總督府御用納式

總督府本年御用納式は二十八日正午總督府第一會議室に於て擧行されたり定刻に至るや長谷川總督山縣政務總監以下本府高等官及び所屬官署の長等一同參集、山縣政務總監一同を代表して歳末の挨拶あり長谷川總督之を受け一場の訓告あり了つて一同退散更に各部局に於ては屬員以上判任官以下を召集長官より夫々御用納に關する訓告を與へ終つて全部退散せり

◎諸官廳御用納

▲遞信局 遞信局にては二十八日午前十一時より池田長官以下局員一同會議室に參集長官より御用納に關する一場の挨拶をなし岡本遞信技師之れに答へ十一時半式を終れり

▲京畿道 京畿道にては二十八日午後二時より道長官以下各職員一同參集し道長官は總督府に於て長谷川總督よりありたる訓示の趣旨に基き一場の訓示を爲し終つて一同隨意退廳せり

▲京城府 二十八日午後一時より府尹室にて擧行各係主任以下全員出席府尹より一場の訓示ありたり

▲裁判所 裁判所側にては高等法院及び京城覆審地方兩法院とも何れも例年の如く二十八日を以て御用納めと爲したり

▲總監部 二十八日午前十一時高等官及び各課長係長一堂に會同し古海總長の訓示あり之に對して各課長の挨拶ありたり

▲警務部 二十八日午後三時京畿道警務部にては府内各警察署を召集し警部隊長より一場の訓辭あり之に對して代表者として呼子警視の挨拶の辭ありたり

▲調査局 土地調査局にては二十八日午前十一時鈴木局長以下會議室に參集局長より御用納に關する一場の挨拶をなし和田總務課長之れに答へ式を終へたり

▲鐵道局 鐵道局に於ては二十八日御用納に付午後三時長官室に各高等官參集し大屋長官より一場の挨拶をなしたり

◎辭令

二十六日附を以て左の通り辭令ありたり

勸業模範場技師正七位 岩田次郎
任朝鮮總督府農林學校教諭兼勸業模範場技師(叙高等官五等)

農林學校教諭兼勸業模範場技師正七位 野木傳三
任朝鮮總督府勸業模範場技師(叙高等官五等)

總督府醫院醫員 柳樂達見
兼任京城醫學專門學校教授(叙高等官七等)

總督府醫院醫官兼京城醫學專門學校教授正七位 久慈直太郎
任朝鮮總督府醫院醫官兼京城醫學專門學校教授(叙高等官五等)

◎調査局賜金期

土地調査局にては既報の如く年内事業終了に伴ふ退官者に對し一時賜金を交附する筈にて調査の進行を圖りつゝありしが何分其の數二千數百人の多數に及び居れる爲め豫定の如く結了せず多分一箇月遲延し一月下旬若くば二月上旬交附の事となるべしと

◎立花中將消息

其の歸任は明年ならん

北鮮守備隊檢閲のため出張中なる立花第十九師團長須田參謀大森副官の一行は二十八日清津に出でたるが同日清津發師團司令部に達せる電報によれば海上不穩其他の關係上朝鮮丸の清津出航期著しく遲延し尚ほ確定せざるに付歸京期は明年正月に入るべしとありたり

◎營林廠長歸任

歸京中なる營林廠長齋藤音作氏は二十九日朝出發歸任の筈

◎嚴寒と年賀郵便

本年の年賀郵便は各地を通じ好景氣の爲め其の差出し數既往に比し増加し居れる模様にて各郵便局の多忙甚しきが二十六日以降は嚴寒全鮮を襲ひし爲め最も差出の多數を見る時激減せし模様あり爲替貯金其他の事務も稍小閑なりと

◎浦鹽禁輸附加指令

浦鹽輸入禁止令に關し露國政府より釜山駐在同國領事に宛て左の附加指令を通告し來れり(釜山)

地方の需用品と認められたる貨物は豫め請願することなくして浦鹽に輸入することを許可す但し地方の需用爲めに必要と認められたる貨物に就ての保證は要塞司令官の下にある專門委員會にて交附すべきものなり

◎甜菜糖と平壤發起人

朝鮮甜菜糖株式會社の發起人に朝鮮居住内鮮人を參加せしむべく總督府の囑託にて原田京城商業會議所會頭が平壤鎭南浦京城等より發起人として百株以上を所有すべき朝鮮人若干名を指定勸誘すべき委員として飯釜、宮川、大橋三氏を擧げ商業會議所會頭宛にて其勸誘方を委囑し來るは既報の如くなるが聞く處によれば甜菜問題は平壤多年の懸案にて且つ會社工場の所在地となるべき丈け發起人參加株式應募の希望を有する向き尠からざる者の如く指定委員中板倉鎰太郎氏は當分歸國中にて其意向を知る能はざれど宮川大橋兩氏協議の上にて希望者中より尠くとも内鮮人五六名の參加を出すべく斡施中なるが多分淺井佐一郎、山根政治の兩氏も參加承諾の模様にて鮮人側の希望者は遂に大橋會頭まで申込みあるべしとなり(平壤)

◎命令航路休航

大同江命令航路たる鎭南浦載寧線は十二月二十二日同じく鎭南浦津江浦線は二十五日以降同江結氷並に流氷の爲め航行危險に付何れも歸航せり

◎東拓八週年自祝宴

東洋拓殖會社にては二十八日創立滿八週年に相當するを以て石塚總裁松平川上高瀬三理事以下社員一同正午より食堂に參集し自祝的の宴を張りたるが席上石塚總裁より一場の挨拶ありたりと

◎肥田參事退職

東拓全南榮山浦出張所長參事肥田程三郎氏は病氣の爲め二十五日退社したり

◎東拓榮山浦出張所長

肥田東拓榮山浦出張所長退社に付當分の間同所書記秋山運四郎氏所長事務を執る由

◎東拓各室移轉

東拓にては御用納の上二十七日夜總裁室を前監理官室に又秘書室を前檢査課に移し檢査課は秘書室に移轉せり

◎日支貨物聯絡

芳賀鐵道院參事の談に依れば日支貨物聯絡の輸送は多年の懸案にして本年四月東京に於て開催したる際聯絡會議に於ける協議に基き今回是が實行準備として出張したる次第なるが右聯絡輸送は兩國當業者の希望する所なりと雖も支那の鐵道營業狀況が完全に聯絡を實行し得ざるを以て實現するに至らざれども支那の輸送習慣其他を參酌して是に適應すべき聯絡方法を取らば敢て困難に非ずとし支那に於ける鐵道業者並に輸送業者と協議し意見の交換を行ふ爲め出張したるものなるが支那側に於ては是を誤解して日本が何等かの計畫をなすものとして是に對抗して一大運輸事業を計畫せんとの噂もある模様なれども聯絡輸送の意味は要するに双方貨物輸送の敏活安全ならんを期する者なるを以て努めて支那側の意見を聽取すると共に支那側も進んで調査せられんことを希望するものなり今回の調査に通運會社の人々も出張せしめたるは支那側の運輸當業者と實地的の意見を交換せしめん爲めにて今回の行程は約五箇月以上を要し北京を經て南京は勿論宜昌其他の方面にも出張すべく來年度開催の聯絡會議迄には具體的聯絡方法の成案を見るなかるべし云々(大連)

◎滿洲の寒氣と市況 零下三十餘度に降る

▲行路人影を絶つ 滿洲は此の二十日頃まで近年になき温暖に慶賀用の石炭の賣行も自然思はしからざりしが二十二日頃より俄かに激烈なる寒氣襲來し當日は朝より夜にかけ粉雪小歇めなく降り頻り翌日は陣々たる朔風と共に飛雪繽紛亂し滿目荒凉として行路人影を絶つの有様なりしが爾來引續き寒氣益烈しく奉天以北は零下三十餘度に下り滿洲中最も温暖の地たる大連に於ても零下十五六度を示せり

▲市況に及す影響 然るに此の歳末市況も數日來の嚴寒にて客足杜絶はし爲め遽に寂寥たる觀を呈し事實は猶ほ相當の賣行ある模様なれど表面は至つて物淋しき光景を現じ居れり昨今の嚴寒が今後數日も繼續せば滿洲には例の如く多數の凍死者を出すべく貨物の輸送にも故障を生じ而して之れが一般市況の上に尠からざる影響を及ぼすべしとて懸念され居れり(廿五日大連)

▲大連の光景寂寥 此分にては一昨年の如く不凍港の大連港も遂に凍結せんも知れず既に外港の一部は結氷し船舶の往來自由ならず大連市街道路も氷の如く氷結し行人は何れも歩行に困難を感じ居れり隨つて其の影響は市中の歳末商況にも及ぼし各商店にては既に數日前より大々的歳末大賣出しの景氣を附け居るも寒氣に辟易して外出するもの尠なき爲め各商店とも顧客乏しく目抜きの浪速町通りの如きも頗る寂寥たる光景を現し居れり

▲素晴らしき好況 大連の歳末市況は滿洲一般のそれと共に寂しく報道したる如くなるが大連の如きは案外好況の方にて吳服太物類、時計貴金屬、酒類煙草類、和洋雜貨など相當に賣行あり是は物價の騰貴に拘らず一般居住者の生活に餘裕あると銀圓暴騰に伴ふ支那人側の購買力の多少増進したると國税其他の負擔輕き等に基因するものと見るべく加ふるに本年は諸種の建築事業起り猶ほ滿洲に種々の新事業發生し猶ほ近き將來に起らんとする諸事業もありて何れもそれぞれ景氣附き居る爲め正貨の流入資本の増大と相待ち自然それが歳末市況の上にも現はれたるものなるべきが勿論健實なる景況とは目し難し花柳界の繁昌は相撲らずにして殊に年末の景氣は實に素晴らしき勢なり

春川

▲古海中將歡迎宴會 來春の警務總長古海中將一行の歡迎宴會は二十四日午後六時より一樂に於て開催重なる出席者は道廳各高等官警務部長同副官軍醫主計分隊長守備隊長裁判所高等官醫院醫官其他官民有志五十餘名にして主客十二分の歡を盡し午後九時閉會盛況を極めたり

▲古海中將の招宴 警務總長は二十五日午後六時より官民有志を一樂に招待し懇親の宴を開かれたるが盛況前日に異ならず午後九時閉散せり

▲非常召集演習 春川分監に於ては廿三日午後九時四十分藤田分監長命令の下に火災非常召集演習及び假装逃走者逮捕演習を行ひたるが十五分以内に配置に就きたる者三名二十分以内五名一時間以内には全員集會を終り豫定の演習を實施するを得たり而して假裝逃走者は十五分以内に玉川部長之れを逮捕し分監長一場の講評をなし午前十二時四十分終了服裝携帶品共に異狀なく各員の動作敏活にして頗る好成績なりき

▲武術納會 春川分監武術納會は二十四日午後一時より藤田分監長監督の下に擧行せられたるが劍道十五組何れも龍攘虎搏の試合を續け午後三時閉會一同分監長の懇親會に招待され同七時無事退散せり

公州

▲大田中學校決定 豫て報道したる大田中學校敷地其の他の件は二十四日總督府より上田視學官忠淸南道廳谷第一部長大田へ出張の上愈決定し明春百名の生徒を募集し假校舍に於て開校する事となれり

▲武術納 忠淸南道警務部公州憲兵隊本部同警察署同派遣所の職員は二十七日午後一時より警察署の道場に於て神田警務長統裁の下に擊劍柔道の納會を行ひたるが上林道長官瀧谷警務部長兩角檢事等の參觀ありて盛會を極めたり

▲選種品評會 公州郡に於ては豫て各面に於て稻の立毛品評會を開催したるが更に本月上旬より選種品評會を開き二十三日公州面外五面の褒賞授與式を郡廳に於て擧行せり當日は雨天なりしに拘はらず上林道長官指宿道技師臨席し出品者の集まる者數百名午後二時開會池郡守より賞狀及び賞品を授與し技師の祝辭等ありて同六時閉會したるが其の立毛品評會に於ける出品點數三三二點にして一等賞五點二等賞十點以下略選種品評會に於て出品總點數二二五點にして一等賞六點二等賞三二點以下略

▲農友會組織 公州郡に於ては郡内に居住する各種農業學校恩賜産業傳習所卒業生を以て農友會を組織し郡内農林業の指導啓發に資し併せて之等卒業生を指導啓發する目的を以て二十三日公州面事務所に於て創立總會を開催せり道廳よりは上林長官指宿技師郡廳よりは池郡守其の他臨席し會員の集りたるもの六十餘名に及び規約の決定諸般の協定を爲し役員の指名推薦を行ひ長官の訓示技師の演說等ありたるが當局の指導と相俟ちて地方產業啓發上相當の效果を收め得べし尚役員の氏名は左の如し

會長農學校教諭 置廷鶴 副會長 農林學校卒業生 沈載昱 幹事 金基泰外十四名

大邱

▲輕鐵用地買收打合 慶尙北道廳にては二十七日大邱府及慶山達城各郡庶務主任及び土木係主任各警察官臨席の上輕鐵會社第一期工區大邱河陽間地買收に關し種々協議する所ありたり

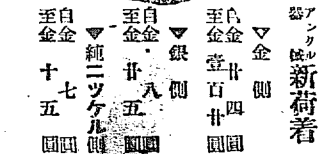
▲海苔製法改良 海苔は通常海中に設備へたるソダに附著する胞子の發育を待つて採取するものなるも慶尙北道東海岸は比較的風浪荒き爲め是等の設備を施すに由なく天然自然に岩石に附著せるものを採集し藥の實上に於て乾燥し居りたる不完全の結果土砂貝殼等の混入多く到底中流以上の食用に供する能はざるを以て本道廳に於ては今回之が改良發達を圖るべく簀の上に簾を布きて乾燥するの方法を講じ以て内地向き上等品を製造せしむるの方針なりと

人事消息

▲三浦末喜氏(辯護士)二十七日夜永川より歸京
▲藤宿武則氏(總監部警視)二十八日午前内地へ
▲林永孝保 二十七日午後大邱より入京

紛失廣告
一額面金五百圓也
大正五年十二月二十八日附振出人森川萬次郎約束手形壹葉十二月二十七日紛失に付爾後無効とす
京城本町三丁目 森川萬次郎

最新式腕巻時計
アンクル式 新荷着



▽金側 自金廿四圓 至金壹百廿圓
▽銀側 自金八圓 至金廿五圓
▽純ニツケル側 自金七圓 至金十五圓

京城本町二丁目
村木時計舗京城支店
京城電話三四七〇 振替京城一四九〇一
其他眼鏡貴金屬品は當工場に於て製造致候間多少不拘御用命願上候
御注文は代金引替小包便にて御送納可申上候

電話千五百二十番
村山商店

▲山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價金十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇 京城日報社代理部

▲國民新聞創刊廿五年記念出版
蘇峰文選
一萬部限特價金壹圓八十錢
上製菊版一千五百頁 定價金三圓五十錢
文章經國を以て畢生の天職とする蘇峰先生三十年間の傑作を精選す。明治大正時代の國民必讀の教科書、精神的修養の糧食、深雅なる趣味の養成所、所有る文章の模範也。
發行所 東京京橋區日吉町 民友社
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報代理部

京城府告示第二十三號
來ル大正六年一月一日當廳ニ於テ御眞影拜賀式擧行候條同日午前九時半ヨリ十時半迄ノ間ニ於テ府民一般隨意拜賀セラルヘシ
但シ服裝ハ『フロックコート』若クハ紋付羽織袴トス朝鮮人ハ相當敬意ヲ缺カサル服裝ニテ差支ナシ
大正五年十二月廿七日
京城府尹 金谷充

大正五年十二月二十八日京城府公文使染病豫防救治ニ從事スル者ニ對スル手當金支給條例
第一條中『支給ス』トアルハ『支給ス』ノ誤植
第二條中『俸百圓未滿』ハ『俸給百圓未滿』ノ誤植
第五條中『職員及雇員』以下ハ左ノ通リノ誤植
職員及雇員
俸給百圓以上 一日金三圓
俸給百圓未滿 一日金二圓
傭人 一日金一圓
臨時ニ使役シタル傭人ニ日給三十日分以内

朝鮮總督府

●塹壕生活の產んだ慘憺たる狂者の群

笑ひもせず、泣きもせぬ物凄さ！ 中學生が母の名を呼びつゝ戰死 苦しさの發明

▽勝手元の流水から牛酪 ▽貰物と變らぬ義手義足

—總督府醫院醫官植村俊二氏の談—

獨逸の戰鬪力に關しては其の專門であるところの軍人によつて各方面から調査されてゐるが、私の知人の息子で十七歳になる中學生が戰死したといふ事を聞いて、全線に配置されてゐる

◇義勇兵の中には中學生が大分混つて

ゐるのは罷ふべからざる事實で、或る所では中學生徒に對して殆んど強制的に義勇兵となる事を獎勵し、若し之れを忌避したり應じないやうな事があると學校に於いて進級に手加減をするやうな事さへある尤も少年の事であるから多くは給仕代りに使はれて居り直接戰を執つて戰鬪には加はらぬといふが可愛想な事には彼等の居る所の近くに於いて夜間爆裂彈が破裂したり大砲の彈丸が落下たりすると聞しい恐怖に襲れる者が

◇『阿母さん々々』悲鳴を揚げる事が

あるさうだ又戰爭のために不具者の多くなつた事は非常なものである遺に伯林の如き外國人の多數居る所には不具者は置いて居ないけれども田舍へ行つて見ると男といふ男は大抵不具者である此の結果は婦人にして結婚し得る者は漸く六十パーセントに過ぎぬやうな有樣になつた然かも茲に感ずべき事は不具者に對して職業を與へる機關が完備してゐる之れがために整形外科術が著しく進歩して

◇從來の義手義足は一つの裝飾に過ぎ

なかつたのであるが昨今では全く實用的になり上膊の無いもので耕作の業に從ひ、或は食卓のナイフ、フォークの操きも自由に鮮かに運び中には機械の運轉をしてゐる者もある位で之れに就いては各市が餘程力を入れてゐるやうである、次ぎに金屬類の拂底も甚だしいもので銅、眞鍮等の機械類は政府でドシ〳〵引上げると同時に戰爭終了後返附するといふ條件附で國民からも納めさせてゐる是等の金屬を納付した者には政府が作つた

◇『帝國記念鍋』といふ鐵製の鍋を交付し

てゐる而して金屬拂底の影響は貨幣に迄及んで銀銅貨の代用品として鐵製の補助貨を鑄造してゐる（二十八日朝刊寫眞參照）それから科學の進歩は是亦盛んなもので勝手元の流し水を擦り酸を加へ脂肪分を採つて人工的に牛酪を製するなど頗る大袈裟な仕掛で造つてゐる護謨の原料の如き多く熱帶地方から輸入されてゐたものが全く杜絶したので自動車の車輪その他多くの護謨の需要を控へてゐる困窮の末代用品が出來るやうになつた

◇外科醫が常に使用する護謨の手袋の

如きセルロイドで出來るやうになつた、倘又戰爭に關する特殊の疾病は前線に在つて塹壕に據り敵と相對してゐると夜間などに窒息彈を投入してゆく、若し之れに對する何等の用意も無いと忽ち絶息して終ふので是れを防ぐために兵は何れも絶わず覆面をしてゐる、その覆面の中に籠る水蒸氣のために顏面が糜爛して皮膚炎のやうなものを起してゐる、此のスチンクボンベイは佛軍はブローム劑で作り獨軍もクローム劑で作つてゐるが前者の有効時間は四時間で後者は二時間、共にその効力には恐るべき偉大なものがある、更に以上の如く

◇敵前に終日塹壕生活を爲し夜中と雖

も砲聲のために睡眠が充分に出來ず不眠不休で勤務に服する結果として多くの精神病者を出してゐる、その症狀は全く痴呆狀態にあつて話かけても答へず、笑はず泣かず唯呆然としてゐる、醫者の方で牛眼狀といふが眼を開いてゐても瞬をしない、之れは睡眠不足から來るのであつて此の病氣に罹つても容易に寢ない、之れ種の患者が私の居たバフゼルの國境の病院に百名ばかりの患者が收容されてゐたが實に悲慘なものである

▲頭上に仰ぐ空中戰 ライン河上、曳火彈の壯觀

私の下宿してゐた所は國境から七八丁離れた所だつたが戰鬪の烈しい時は

▽晝夜となく砲聲が聞え て机の上に置いてある酒精の瓶が震動したりした事があつた、國境に沿うた市街の附近には鐵條網を張つて兵士が番をしては居るが郊外へ出ると國境の標識としては纔かに紅白の

▽小旗が揭げられてある ばかりでその旗も風雨に曝されてボロ〳〵になつたものなぞがあるので迂濶り散歩してゐると不知不識に國境を超ゑて獨逸領に足を踏み入れ、氣が付いて喫驚して引返すやうな事もあつた、市街に

▽砲彈が落下する といふやうな事は無く佛蘭西の飛行機が誤まつて投彈してゆく事などもあつたが恁んな事も滅多に無いと言つてよかつた、時に十臺

▽廿臺の飛行機が 翼を連ねて飛んで來ると獨軍の飛行機も之れを邀へ擊つべく飛翔し飛行機が發砲して壯快な空中戰が始まる事もあり殊にバフゼルの市街の中央には亦例のラインの河が流れて居るので夜など

▽川邊のベンチに 腰を下ろして看めて居ると飛行機より發する曳火彈が煙火のやうに美しく暗の室に輝いて甚だ美觀を現はす事などあつた、ベルダン戰の始まる前のベルホードの戰鬪などは隨分盛んなものであつた

▽戰亂の巷に近い 所に一箇年間を送つた經驗によると最初は恐ろしいと思つたが馴れるに隨がつて戰爭といふものがそれ程神經を刺戟もしなくなつた

著彈觀測望樓 佛軍の前線にて

●我が警備艦救助に向ふ」 乘客船員共に全滅か—芝罘沖に 坐礁沈沒せる阪鶴丸の遭難詳報

飛雪繽紛として降り頻風陣々として吹き荒む二十四日の午後六時一聲の汽笛を發して大連港を拔錨したる阿波共同汽船會社所有の阪鶴丸（七七五噸）は命令航路の芝罘靑島に向ひたるものなるが

▲航海の途中にて 大風雪に出會し遂に航路を誤り芝罘島裏の岩礁に乘り上げ不幸にも沈沒の厄に逢遭せり同船には日本人六名、米國人二名、支那人二百二十餘名の乘客あり二十五日拂曉芝罘港外にて頻りに汽笛を鳴らし船員等は一本マストの上に登りハンカチーフを打振り聲を涸らして救助を求めつゝありしを發見したる芝罘の阿波共同汽船支店にては直ちに救助船を派せしも風浪高く風雪激しくして殆んど施すに術なしとの入電二十五日大連の同社支店に達したれば當地よりも直ちに救助船を派し猶ほ

▲旅順要港司令部 よりも相當救助をなすことになれるが阪鶴丸の沈沒せるは芝罘より突出せる半島たる芝罘島の北部にして二十五日朝同地阿波共同會社支店にては永利號（七百噸）及び小蒸汽艇を救助に赴かしめると共に一方支那軍艦も救助に赴き極力救助に努つゝあるも波浪荒く却々沈沒船に近づく能はず救助は頗る困難なるが如く通報あり情報を綜合するに乘客船員とも全滅の悲運を見るにあらざるか大連阿波共同會社にては此報に接するや直ちに在港の第六共同丸を救助に赴むかせんとしたるも除雪の爲めシケにて

▲航海殊の外危險 なるより風ぎ次第芝罘に急行する事とし一方海務局よりは旅順要港部に急電を以て何分急助船を出さるゝ樣願ひ出でたり又旅順港に碇泊中なる警備艦千代田は阪鶴丸救助の爲め廿五日午後四時十五分拔錨遭難現場に急行したるが平時ならば五六時間にて到達し得べきも吹雪にて波荒く海上朦朧として航海困難なるものあれば平時より二三時間遲着すべく同夜深更には著芝すべければ

▲廿六日朝天明を 待ちて救助に從事する豫定なりと阪鶴丸は元鐵道院の連絡船なりしを大正元年中阿波共同汽船會社にて買受けたるものにて船齡もまだ十歲位七百餘噸の船なるも設備よき船なるより過般林駐支大使が來滿したる際の如き大使歸任の乘船として芝罘まで送りし事は今も世人の記憶に新たなる所なるに今此の慘事を惹起したるは遺憾の極みなり因みに共同汽船會社にては悲報に接するや否や直ちに乘客關係者に其旨打電したりと（大連）

◆京城神社の大祓

京城神社に於ては年々の恒例式により十二月三十一日午後八時より大祓式を執行すべく當夜は拜殿前に薦を敷き案を設けて祓所を備へ境内に篝火を焚き定刻となるや谷村社司以下神社各職員並に地方官民氏子總代等著床祓主祓の詞を白して大麻の行事を行へば各員切麻を以て祓を行ひ祓つ物は直ちに之れを漢江に流すべく氏子にして祓を受けたきものは同時刻前に境内に參集すべしと

●行衛不明の第十六共同丸 小靑島附近に避難せしならん

阿波共同汽船會社所有船第十六共同丸は二十二日大連發二十四日芝罘拔錨石炭千噸、乘客三十五六名を搭載し仁川に向け出帆し二十五日夕刻迄には仁川港入港の豫定なりしが二十七日に至る迄

▲何等の消息 無きを以て取扱店たる野口商會及荷主は非常に憂慮し無線電信を以て小靑島燈臺に紹介したる處船名不明の一汽船碇舶し居る旨返電ありたるを以て多少第十六共同丸ならんと推測し二十八日午前十時頃再び月尾島無線電信局の手を經て小靑島無線電信所に紹介すると共に一方水上署よりは救助の爲め

▲鰐丸を急航 せしめたりと因に小靑島は大靑島を距る三里の地點にあるを以て望遠鏡にて檣上の信號旗を認め得る筈なるも今朝迄判明せざりしは多少風浪暴き爲めなる可し船長は森崎氏にて多年此の航路に從事し且つ思慮綿密の人なれば萬々過失等の事無かる可ければ或は機關部に故障生じたる爲め大靑島に避難し居るならんと大靑島は仁川を隔る九十哩の地點に在り（仁川支局）

●漁夫八名行衛不明となる

［左端破損・判読不能］…中に落ち行衛不明者内地人二名鮮人四名を出したるが内三名は翌日同地…魚釣中午後十一時頃南方より三艘の發動船…進航し來り…を救助せしも…

歳末漫畫—餅搗き—

細君御自慢の搦餅でクチクなつた腹を抱へて一と休み、サアこれから一と臼と立上る所へ表から林檎の樣な頬をした伯母さんとこのべそちやん、大きなお重箱を抱へ込んで『オヤ〳〵伯父サンとこも餅搗き？ 妾んとこも餅を搗いちやつたのよ、妾澤山持つて來たわ……』伯父サン『宅へ歸つてお母樣に左樣云ひナ、何んだつて同じ日に餅を搗くんだつて……』

●靜岡縣大火 全燒八百六十餘戸

二十七日朝靜岡縣賀茂郡下田町今新太郎方より出火し六百八十餘戸を燒失せり（大阪特電）

●大阪雪三寸 ▼華氏三十一度

大阪は二十六日夜來の風二十七日も引續き止まず寒氣加はり最低溫度華氏三十一度を見たるが二十八日は風止み二十七日夜來の雪積りて約三寸に及び當地稀有の積雪也又神戸は二十七日朝より積雪を見たり（大阪特電）

●雪見 京都 賑ふ

京都は二十七日より都大路見渡す限り一面の銀世界と化し二十八日は雪見客にて賑へり（大阪特電）

●江州積雪深し

江州は積雪深く金澤地方は降雪の爲め列車に故障を生じたり（大阪特電）

●讃岐稀有の降雨

讃岐は近年稀有の降雨ありたりとの報あり（大阪特電）

●老婆黑焦げとなる

二十七日朝神戸磯上通八丁目高枝元二郎方より出火し同家は忽ち全燒せるが老母は黑焦となりて燒死せり（大阪特電）

●嚴寒のため 電話線の切斷

二十六日來稀有の嚴寒全鮮を襲へる爲め南北各地の電信電話線中感寒緊縮の結果切斷されし個所二十餘個所に及び地方によりては通信不能個所を生じたるが何れも當局にて遲滯なく修理を行なひたり

灯ともごろ

東拓では總裁室の日當りが惡いからとて二十七日急な總裁の思ひ立ちにより同夜總裁室及び秘書室を樓上の西端から東端に引越した▲其の移つた事を會社員中には知らぬ者が多かつた、で二十八日の朝課長以下の社員が定刻に出社し秘書室に出勤簿捺印の爲め上つて行くとそこには檢査課の人達が忙しさうに机や文書の整理をしてゐると云ふ始末▲社員達は秘書室が夜逃げしたなどと一寸混雜の内に話し合ひつゝ何れも長い廊下を歩いて新秘書室に轉じたさうだ▲酷寒が急に襲來したので本町通りはバッタリ人足が無くなつて商店は折角の好景氣の鼻を挫かれたがまた今日あたりから陽氣が緩んで來たので盛り返すだらうとのこと

…同等…三谷仲之助 藤田たか、柿谷市藏、安藤貞三（三等百二十八名）

天氣 晴れ一時曇り

婦人之友 新年希望號

私の望み 名家六十六 △本年の中にして見たいと思ふ事 △生涯の中にして見たいと思ふ事

新年の希望…三宅博士

自勞自活の人…羽仁もと子

娘の處女作の出るまで…中條夫人

自治と自由を尚ぶ我家の教育法…一井伊藤隆深

恐ろしい『内證』の一語…花子

娘に良縁を求めた母の苦心

新年附錄 裁縫節用歌がるた あらゆる裁縫の要訣を百首の歌に志す野司入彩色石版刷 綱摩案立 繪

特別記事 家事のと方（一）夫人多年の實驗に基ける活文字新年號より連載 淺田夫人

特別記事 家庭紋染法（一）簡單な器具で誰にでも手際よく出來る絞り染の仕方 奥村平治

▲餅は消化し易い 吉田博士

▲成功した女中會 吉川夫人 久保夫人

▲絹さし手びき… 川塚夫人

▲新年用容膳 手かね子

成功した買物失敗した買物

長編小說 若草（佐々木邦譯） 紅綠 佐藤

歷史小說 淀君 三人の若き婦人を主人公として現代の家庭を諷したる新作長編小說 中里介山

西洋小說 放蕩息子（英國文豪ホールケンの最大傑作）松本雲舟

定價廿五錢 郵稅二錢 半年分郵稅共一圓二十錢 東京雜司ケ谷（振替東京一二六〇〇）婦人之友社

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 四八 一四 四五 九四 番番 振替京城五七番

内科 小兒科 京城日出小學校前 多々見醫院 入院隨意 電話九四〇番

新春の英姿は 向島印學生帽子 に依つて飾らる

登錄商標 向島印 日ノ出 NAME THE DURABLE SPECIAL FINISH

値段改正 銅鐵に限り關稅の關係に依り A號 壹個 金一圓十錢 B號 壹個 金八十五錢 C號 壹個 金七十錢

製造發賣元 東京 吉安商店

去る十九日慶北迎日郡浦項……市川沖に於て釜山牧之島櫻木某の……有船網漁船の片船が出漁中暗礁に乘り揚げ船體破壞し乘組員十三名海……後十一時頃慶州郡陽南面水念里沖合一里の處にて四人乘組の漁船が太刀……求めたるを附近に出漁中の漁船陽南面水念里金甲伊（六二）が發見して二名……船遭著の爲めなりと

●電報で雨や風を豫知する

‖便利な氣象通知電報は明年一月一日より實施‖

大喜びのお百姓さん漁師さん相場師

今回發布された氣象通知電報規則は愈々明年一月一日より實施さるゝ事となつたから航海業農事經營製鹽業其他天候と

◆密接の關係を有する事業經營者は今後簡便な方法と低廉な料金とを以て極めて迅速に氣象狀況を知る事が出來るのであるから一般受信者に取つては利する處頗る大なる者が有らうと思ふ、本規則に依つて見れば氣象通知電報の種別は天氣豫報暴風警報各地氣象實況報高低氣壓實況報の四種であるが其中天氣豫報は測候所在地は測候所より警報以下は仁川觀測所より通知する事となつて居る天氣豫報は天候の

◆大體の見込を報ずるのであるが朝鮮に於ける測候所は仁川、京城、木浦、釜山、大邱、江陵、平壤、龍岩浦、中江鎭、元山、城津、雄基の十二箇所で其の分布が未だ理想的でないため鎭南浦の受信者は平壤測候所の豫報に依らねばならぬ樣に土地の遠近に依り多少天候狀態も異る併し大體に於て大差無し現に開城人蔘栽培の如きは仁川から發する豫報に依りて何等不都合を認め居られぬ暴風警報は船舶、廻漕業、漁業地、水利組合、農場等では是非必要で

◆取扱局所では仁川觀測所から發する處の警戒時期、低氣壓の狀況重なる地の天候見込み、警戒區域等を隨時發信する事になつて居るが各地氣象實況報及び高低氣壓實況報は前記豫報警報と異つて非常に複雜して居るから專門の智識が無いと解らないが前者は奉天、大連、上海、天津、鮮內各地等の各方面に於ける氣流の狀態天候を始め高低氣壓の所在氣温等の觀測のまゝを詳細に通信し受信者は此れを

◆天氣圖に記入して滿洲に高氣壓が發達して南鮮地方に低氣壓が發達して居るから氣壓の傾斜が激しくなつて風が吹き此れと共に降雨雪があると言ふ具合に自ら各地一帶の天候を豫測するのであつて廣く深く灣の邊田では昨年から此れを實行して居る後者は氣壓の中心位置、示度、進行方向及び記事としては今後の風向は如何になるか雨雪霧等の發生及び長短等を示す事になつてる、氣象電報の

◆記載方は符號及び譯文の二種があるが符號は天候、風、氣壓の進行、警戒區域其他に至る迄第一符號より數符號に區別されて簡單な片假名に依つて複雜な氣象を通信する事が出來る、例へば第一符號の『レ』と第二符號の『ハ』を合すれば北風西に廻り降雨ある可しとなり警戒區域の符號は『イ』が平安南北道『カ』が黄海京畿忠南全北全南の五道となるが如く仲々に詳細を極めて居るのである（平田仁川觀測所長談）

◆新年用の盆栽◆

近年非常に盆栽が流行する結果新年の床の間には花を活けて飾る代りに盆栽を飾るとか又は活花の間に本床に松、柏、或は梅等の盆栽を据ゑ邊際には梅、福壽草などに石を配合した洒落た盆栽を見せると云つたやうな傾向が歡迎されるので昨年あたりから上流社會の新年の飾り物として盆栽が用ゐられるやうになつた

▲松柏類 今迄重に滿州、名古屋大阪邊のものが愛せられて居つたが段々趣味が向上し幹が若いと云ふので今は播州及び四國邊の深山の中に育つた巖石にある素性のよいのでなければ愛玩されないやうになり、女松よりは男松が喜ばれ五葉の松も愛好者が多い價格は二三十圓から百圓位ヅヽ良いのになると二三百圓位する

▲梅 は甲州の野梅が最上とし、實生野梅、朱梅、鉄梅、道知邊、冬至梅などで本年は下物か高いか中以上は昨年と變りない一鉢から四五圓位だが枡林のやうに植込んだものには二三十圓から四五十圓もするのがある

▲福壽草 青梅が本場であるが普通市中で蕾梅と云つて居るのは上州物である上州の物は花が太く一寸見にはよいが花の色は黄色だが青梅物は細いけれど光澤ある黄金色の花が潔け夕に咨み翌朝になると又開くので此の方が本場としてある値段は上州物で一本一錢から三錢、青梅物は三錢から十錢位これも植込となると二三十錢から十二三圓位迄ある

▲雪割草 も赤可備で春に魁けしい處からよく用ゐられ加州よりは佐渡の者がよいとして居る紫紅、白、薄色、紫等の種類十種位ある價段は加州物一本一二錢佐渡物二三錢から四五錢であるが植込であると四五十錢から二三圓位の處である

◆洋錢の大暴騰

奉天歲末市況

奉天歲末市況を聞くに邦人間に於ては頗る順調にて數年來未だ見ざるの好況なりと傳へらる蓋し數年前に於ては一部の金融業者が其勢力發展の爲め競爭的に大膽なる放資を行ひし爲め一時不自然なる市況の活氣を呈せし事ありしも該金融業者は忽ち之れが回收に努めたるを以て

◆金融頓に硬塞して人爲的なる市況の寂寞を來したるも今や此等の創痍が漸く快癒すると與に本年は異常の旺氣を持續せし爲め諸工事の進捗良好なりしと又彼の洋錢兌換の利輸は毎月少くも九萬餘圓を算する程にて此等の利益は皆直接間接に市場に輾轉流通するを以て

◆市中の景氣は仲々なり之れに反し支那側にありては金融は依然極度の緊張を繼續して農商方面へ放資の權威として農商銀行の稱ありし奉天興業銀行の失力は財界の大恐慌を惹起こし又極端なる洋票の減少其他の事情相重なりて洋錢大暴騰を來たし其輸出入貿易に及ぼす影響甚大なれば何れも

◆反動を恐れて愼重に手控への姿なり尤も銀價暴騰の結果は當然輸入界に影響し十二月中に於ける主要輸入品は前年同期に比し著しき增加を示して卽ち綿絲の五百二十五梱綿布の七百五十三梱其他悉く增加を示さゞるなきも此等は多く日本人問屋の庫中に藏せられ支那商は銀價の前途を案じて見送りの體なれば賣取引は決して旺盛ならず又輸出穀界に於ては

◆金貨の低落は輸出に大不利益なるに拘らず其出穀旺盛にして日々四五千石の出廻りありて昨年度の出廻り總高の二十七萬石なりしに對し本年度は四十萬石に達す可しと觀察せらるゝ程なるも此れ多くは金融逼迫の爲め賣急ぐ可き事情ある爲めにて決して適當に消化せらるゝに非らずされば二十三日來洋錢少落の傾向と與に穀價は急速に七八錢方の下値を現はすに到れり（奉天）

◉白耳義慈善演藝會

白耳義寡婦孤兒救濟慈善演藝會は去る二日朝鮮ホテルに於て有志同情の下に開催し非常の盛況を呈したるが當夜の收支決算は左記の通りにして右醵金は外國領事館の手を經て白耳義國其筋へ送金すべしと

▲收入（金六百八圓內譯金二百六十圓外國人側賣上入場券代、金三百三十二圓日本人側同上、金十六圓寄附金）

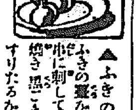
▲支出（金百三十七圓二十錢內譯金六十五圓會場使用料及設備費、金四十八圓六十錢演藝費、金十六圓八十錢印刷費、金六圓八十錢雜費、差引金四百七十圓八十錢純益）

◉愛婦の慰問

愛國婦人會朝鮮本部にては此程年末慰問の意を表する爲め京城衛戍病院（分院、療養所共）入院患者士官四名に朝日五個宛下士卒七十一名に朝日五個タオル一筋宛下士卒七十一名に敷島三個タオル二筋宛南山本願寺收容行路病者十一名に餅等の慰問品を寄贈したり

◉ハリス博士出發

滯京中なりしハリス博士は二十八日午前八時半南大門發列車にて出發せり一度東京に赴きたる上鎌倉の別莊に永住すべし



▲ふきの臺胡麻やき ふきの臺を洗ひて皮をむき金串に刺して胡麻の油をぬりてよく／＼焼き黒ごまを煎りてよく／＼すりたるを煎切りみりんと醬油にてのばしたるものをつけて一寸焼き皿に盛る（青木はつ）

商況

雜報

◉本春來の米價

正米は歐洲戰亂の影響を受けつゝある商工界の殷盛の騰貴に比し米價の獨り低位を脱し得ざりしが爲め素人と黑人を問はず本春以來もなほ値頃の思惑を企てたるも當時の實勢は容易に他の物價と均衡を得べき歩調を許さず本年上半期は相場の昂騰せざりし爲め之等思惑者も多くが失意の裡に此期を經過し六月に入り南鮮地方を初め各地再三の出水被害あり當時之を動機に一相場を煽らんとせしも第一回の出水は挿秧前後なりしより稻作上に格別の影響を與へざりしと共に以上の出水被害も例年旱魃の爲め殆ど收穫を見ざる場所は却つて適水を得稀有の作柄を見越されし等其他自然的の堆肥の稻作の被害程度は全體に於ては輕少なりしより遂に七月を相迎へ七月の仁川定期市場に於ては七月限の取組稀有の巨石に上り買方は賣方共に深甚となり買方は飽迄受米せんとの意氣を張り賣方又渡米を敢行せんとの主張を以て結局受渡しは五萬石の大渡數に上りたる事とて同月の受渡しの爲め準備買附に各地に行はれし爲め同月に入り人氣は一轉し強硬と變じ搗て露國軍需米の輸出商談をも云ふ際とて強氣の理想を實現し初め此の強氣は此處に至つて漸く初場も月初の十一圓臺より十二圓臺に昇進し而かも各地は實物拂底を唱へ新穀端境季迄の供給さへ疑はれた程にて八九月の兩月に互り十三圓臺を拔き上米の遂に十一圓臺に出廻ると共に再び漸く新穀は中旬頃より人氣は軟化し初め其後十一圓十錢迄の安値を出し上米十一圓五十錢迄低落し當時新穀を控へたれば更に一段の低落を豫期されし程なり作柄は例年に比し內地朝鮮共に好く米收穫豫想も發表の時を見ざりしに數字の樂觀されたる際株及び絹糸は破竹の勢を以て暴騰を重ね資本の餘裕に任せ諸種の成金は割安の米に向つて注意を注ぎ來るなど從來の強氣は更に此機に乘じて買煽り熾烈となり期米の暴騰は遂に正米高を招來し延いて移出注文の輻輳を來せしは遂に當業者の新穀期の安見越なるが思はざる誤算となりたる譯にて和說による期米の滯貨問題に日本人氣は再び不勢の崩落に向ひ迎へたる各驛の滯貨も漸次減退し昨今京釜線各驛に殆ど出殘の米は今や內地仕向けを除く外拂底を唱へつゝあるのみならず地方の在米も新期出穀は殆ど見るべきものなしと云ふ一般の昂騰を受け家は殷富裕となり株界も持久力あり懐合居れる爲め年末より春に於ても來るべき反動は必ず來るべしとの觀測あり到底米價も當然之と連れて春商の期待されつゝあるが如し

●大豆は産地拂底

本年收穫期に異例の高値を悅んで賣急ぎたる大豆は今や地方在荷少く産地高値を唱へて賣買行はれ難き狀勢にあらざる筋の觀測によれば目下地方農家の手に殘されるは總額の二割強に過ぎざるべく地方により餘分に見積るもなほ三割を出でざるべしと稱へらる且各驛積の荷とても當時の商値に買附けたる品なれば賣り惜みの多く何れも商値を俟ちつゝあるが小口の投げ物顯はれ突飛なる安値を示すにより相場區々に一定せず地方別に見渡せば金郊汗浦は金融の關係上腰強く目下八圓六十錢見當京義沿線は約定品多きため割高に八圓乃至八圓二十錢見當京元線は荷出拂ひて鮮人持の品八圓七十錢を唱へ居れりされば概して産地値高く仁川値段却つて安きが如き奇觀を呈するに到れり昨今の賣値左の如し

大豆賣買値

白川大豆	八、〇〇	仁川値段
忠淸同	七、七〇	同
思津同	七、六五	同
海州同	七、六五	同
金郊同	八、六〇	産地驛値
汗浦同	八、六〇	同
元山並同上	八、六〇	同

◉綿布初荷値 綿糸

二十七日三品市場は納會の爲め今朝は氣配入電なかりしも綿糸は二錢五厘を報じ綿布は一六個十錢の下際ありたるも當地は年末目下賣買至極閑散なるが初荷の引合は當地も三エー會社側の出荷準備中にて販賣店間に於ては初相場に付て會社側と協議中なれど目下の事情にては未だ判明せざるも會社側は春商に對して強硬な態度にて販賣店側に於ても初相場の如きは七十見越しにて三圓方下は現在の市中賣値百七十にては採算の餘地なしとて交渉を重ね居れるが何れは大阪相場と模樣を參酌し市中の現狀を許して何れ今明日には何とか決すべしといふ

◉洋傘類強硬

狂奔的相場を實現せんとの風情ありし洋傘は原料滯骨が原料鐵の昂騰にて産地相場上進し殊に入荷は米國經由の事とて從來一打八十五錢見當なりしものは倍額上一圓九十錢搗みを唱へそれすら輸入困難の有樣なれば勢ひ和製品の代用を餘儀なからしめ居れり一方縮子は內地相場にて一碼五十錢なりしもの九十錢に上進し絹は定十六七圓見當なりしもの二十五圓搗みに進遂せるの市場品拂底の際なれば二十三圓三十錢上格品二圓二十錢を唱へ居るが本年夏季以來見越されし通り越年後は空前の高値を演出すべき形勢にて市況却々強硬なりといへば來春の本品市場は自然買控へとなり移入は前年より更に減方を見るなるべし

●鑄物類更に昂騰

鑄物類は一時銑鐵市價の低落を見しも當時原料として缺ぐ可からざる古銑の拂底なりしと製造家は原料商と一般の反嚮は伴はざる爲め一時製品市價の手控へし事とて其製造を後に至つて製品拂底となり搗て朝鮮向鍋釜の如きは初秋以來各地共に非常の勢ひを以つて賣立ち常に品不足勝なりし爲め製品價格は爾來昇進の一方なりしが最近又々銑鐵は徐々相場の引返し氣味となり從つて本品類の價格も此處更に七分方の昂騰を告ぐるに至れり需要は今や荷引續き盛んにして本年の如き好賣行を見たる事は曾てなく而かも價格は春來五割方の騰貴にて空前の高値なるにも拘らず斯くの如き稀有の好況を見るに至りしは全く米穀類昂騰の餘影として地方購買力の增進せしに外ならざるべし

◉蜜柑依然漸騰

蜜柑は昨報後約千梱內外の入荷あり其內紀州産小箱は僅かに百梱內外に過ぎず其餘は全部廣島廻りの石油箱入なりしが何樣品拂底の折柄地場小賣店の荷待ちなるのみならず地方よりも平壤鎭南浦其他の中には既に前金を送りて注文の申込みなし居れる之等の少なからざりし爲め同日の千梱內外の物は紀州産のは全部本町小賣店へ廣島物の過半は地方に廻送されたる位にて茲に相場も引締り品薄の發を絶たず殊に紀州産の入荷稀薄なるより當業者は止むを得ず紀州蜜柑の空箱に廣島及び豐後物を詰め賣出しつゝあるも此空箱又在品拂底にて頃日來より各地に買集り居れるが意の如く蒐集する事を得ざる模樣なり斯の如き市況にて人氣は益々強模樣を呈し今日にては一石油箱入二圓五十錢紀州産一梱二圓六七十錢を唱へられ居れり

◉紙類は保合

四月の需用期を見越して持荷多き和紙洋紙は依然平靜を保ちつゝあり講和說も一向に影響なくザラ紙類動かんとせしも忽ち復舊したるのみにて各種品とも先月來殆んど變動なし就中朝鮮紙は需用期過ぎて品少く和洋紙は需用平常と大差なく市中卸値は左の通りなり

土佐柳半紙上一〆二十二圓見當、同中十九圓二十錢、同下十七圓四十錢、美濃中等二十二圓五十錢、下等品薄、因州半紙中等十九圓廿錢、器械半紙一〆十二圓八十錢、洋紙ザラ一連五圓七十錢、神戸洋紙百枚二圓七十錢、其他呼斤七十斤中質の十錢、十五錢より二十錢迄、紙呼斤十五錢より二十錢見當、模造紙呼斤二十錢見當

◉毛斯下押す

毛斯綸は一般財界の不況に制せられたると目先農繁期の爲め地方筋よりの買附なく自然不賣行商情なるも何れの會社も主に毛糸として賣出しに毛斯綸の生産に手加減を加へ居れば市場に在荷品少く隨て需給の調節宜しく相場も値頭を保合び居れるも昨今赤百五十二錢見當を唱へ一時より二三錢方の低落なり

京城正米

沿線地方は別項の如く引續き商氣配にて地廻り又賣人の意嚮弱ならざるに精米筋は白米移出の積出荷運れと新期注文の途切れに餘りは買氣進まず市況は頃日來つゝの儀持合ひの姿に推移し春商をいあるが産地は一般に一帶に見越し居れる事とて出穀捗々しからざるものゝ如し

南大門の廻穀

烏山白米六三叺、平澤白米四〇叺、烏山玄米一〇三叺、天安玄米三五叺、烏山玄米八一叺、天安籾二〇七叺、烏山白米一七叺、烏致院白米一九二叺、平澤玄米三〇二叺、四七叺、烏致院白米三九叺、全谷大豆三〇九叺、平澤玄米二八四叺、平澤白米五五叺、平澤玄米二〇叺、長湍籾二〇叺、平康蕎麥三〇叺、二八叺、小豆二七叺、全義籾四叺、一福溪、全義白米四四叺、歡白米二九叺、開城籾一一叺、西井里籾一九〇叺、讓政府大豆三〇九叺、金村籾一九〇叺、汶山籾一七七叺

釜山市場 二十七日

▲正米（十錢高） 賣り物は各産地賣惜みの趨勢なるや穀類も少數の出廻りにて賣人は寸物も割合稀薄の狀態なり賣れざるの望みあれども買人は移出口に際し品薄のこととなく買ひ又精米の割安品のみを買ひ氣構へなれど容易に商談には應せず必需品は底値に堅く相場は十錢高なり

▲大豆 保合別段變りたることなく商狀にして思惑買人なし

生魚市場

不漁續きにて地元鮮貨入荷著しく京城市場中品平均建値左の如し

タイ三二、サワラ二〇、モエビ三〇、セラメ一一、コチ一〇、メエボ一七、タコ一〇、甲イカ一五、キス二〇、イワシ一〇、サバ九

各地商況

○木浦（二十六日の穀物） 歲末餘日なき所へ船繰不足にて市場人氣沈靜せる處へ夜來の雪五寸に及び滯積廻著も鮮人商人の出場なき爲め殆んど休業同樣閑散を極め既に朝來商談なく大阪定米市場も本日接近し後場を以て大納會となるべく年內波瀾あるべしとも思はれざる不活潑なる成行にて當市場も赤年內は此の儘不變することなくして越年すべしと思はるゝも成行に何等の伸力なく保合なり

下關相場

▲朝鮮白米も氣弱し出廻りを見ずも別段賣急ぎ物あらずと雖も何分地向買氣の進まず當用の手向き薄れ行き相場連られ一文下へ市況鈍き爲め當用口の手向めの市

▲出來大豆は依然不味なりしが其後迴り途切れて手放し兼ねたる大豆も不通なると共に其餘は安く然し人氣は依然一體に於て大に餘り他品と共に大體に産地は初めの折柄不勢も一切米價をあつて安からざる爲め自然買氣不進なるも兎角買れ行不況に氣買向白からず之れ相場變りの人々出來値は左の通りなり

朝鮮一等白米常用	一六、二〇〇
同	一六、三〇〇
同二等白米常用	一五、八〇〇
元山大豆	一二、〇〇〇
同上品	一二、二〇〇

たんをきりせきをしづめ 龍角散 ぜんそくに特効あり

今です！

たんせきぜんそくの流行期は。凡ての人が警戒すべき氣候激變の時は。今です！！この時期には極めて强壯な人でも風邪を引きがちですが夫がたんせきとなりぜんそくとなるを決して油斷はなりません。

油斷は大敵 わけてたんせきぜんそくは最も緊要な呼吸器を侵し途には肺炎、肋膜炎等に變じ易いから輕症の內に呼吸器病一切の專門藥龍角散の服用が最も肝要です 數年の難症に惱む人も怠らず服用あらば氣分は爽快となり病惱は日々に薄らぎ終に治癒するに至る

登錄商標

主治効能 △たんにて常にゴホンゴホンと惱む人 △ぜんそくにてゼイゼイ △ぜいきする人 △せき類に出で夜半 △流行感冒より起る人 △肺病にて常に力なきせきの出る人 △たん臭氣を帶び時々血の交る人 △小兒百日せき又はしかせきの人 △音聲のかれ咽喉の痛み總て呼吸器疾患のたんせきに頭患の効あり又常に音聲を使用する人の咽喉のつかれを補ふ事奇妙なり

定價 二日分二十錢 四日分三十錢 一週分五十錢 二週分一圓 一月分二圓（料送）

取次販賣 全國各藥店にあり 賣切の節は本舗へ御注文を乞ふ代金引替は御斷り郵券代用不苦

本舗製劑師 東京神田區豊島町 藤井得三郎 電話浪花一四二四 振替貯金東京九一

フエロール

目今醫學界に盛に推奬せらるゝ滋養强壯料にして人體の生存に缺く可らざる而も各人が日毎に消耗しつゝある重要營養を補給し健康增進の目的を達成す

▲體育保全 最高 ▲補血營養 ▲最高滋養

而もフエロールは極めて佳快なる美味芳香あり小兒婦人又藥嫌ひの人の嗜好に適す

定價 小瓶一圓 大瓶一圓七十錢 試用二十錢 ▲各藥店にあり

創業元 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

醫家適應症 ●本品には次の各種あり御申込次第說明書進呈 『フエロール』は一般强壯用『グアヤコール、フエロール』は肺結核、氣管枝、肋膜、肺尖加答兒等呼吸器病に適用。『アルゼン、フエロール』は一般慢性諸症、殊に白色の皮膚を保ち長病者に適用。沃度フエロールは發育不全の小兒、腺病患者又一般婦人强壯用に適用す

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四二〇番 五八一番 振替口座京城八一番

同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

眼科內科 小兒科 京城黄金町三丁目赤門通（電話二四四三番） 入院隨意 本田醫院 院長 本田建義

イケダ小兒病內科醫院 池田季雄 京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院）一二三四番（自宅）八八〇番

大日本優等淸酒 ハクツル 品質純良 衞生無害 攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社 發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

資本金參百萬圓 明治三十八年設立 當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城府南大門通一丁目十四番地 株式會社漢城銀行 長 男爵 李允用 專務取締役 韓相龍 電話局二六四六番 二三九番 振替京城一八一番 一六二五番 支店所在地 水原、平壤、大田、開城 出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

明君道中記

第十九席　田邊南龍口演

秀忠公は或る一日大久保彦左衛門を召して 秀『彦左、其方を招きしは餘の儀でない、父家康が取極めし三代の家督は竹千代であるが何分にも彼は識事荒なく天下主將の器にあらず、國松は温厚篤實にして其の器たる者なれば行く〱は家督を國松へ讓らんと思ふが何うじや 彦『子を見ること親に若かずと申して君が國松君へ御家督を讓りたく思召さば臣たる者此の儀に就て口入れは叶ひませぬ、然し大御所樣が一旦斯く〱とお定めになつたことでありますれば、一應駿府へ伺はねばなりますまい、決して無斷で取極る譯には參りません、此のお使は餘人にて叶はず此の彦左衛門に限れば私へ仰付け下さる樣』と申し上げた、秀忠公是を聞いて駿府に參つて家康公へ申されては困るから 秀『イヤ駿府に參るに及ばん只其方の意中を聞いたのみである 彦『左樣なれば申し上げますが、手前の心得では一旦大御所樣のお取極めになりしをお取消しあつては御不孝に當るかと存じまする、それのみならず兄を差置き弟を以て世を襲せ亂を招きしことは和漢共に往々あることと存じます』是は御無用になされた方宜しからうと御意見を申し上げましたから遂に其の事は沙汰歇となりました、最も國松樣は温順で鳥度のお遊びにも女中を相手に貝合せをするとか雙六をするとか云ふことをして居るが、それと反して竹千代樣は一日お庭に出て驅け歩いて居ります、其お相手をするものは大河内長四郎岡部鐵丸といふ、同じ年輩で朝から晩まで遊戯をして居ります、或日竹千代樣家根に雀が巣をかけてチウ〱と瓦の間から出たり入つたりして居るを見られたが 竹『コレ〱長四郎、早う參れ 長『ハイ』 竹『あの家根に雀が巣をかけて居るがあの小雀を捕へて參れ 長『畏りましたが、白晝家根へ上りますとお小言が出ますから夜分になつて捕へて差上げます 竹『左樣か、然らば夜分になつて捕へてくれイ 長『承知いたしました』と其晩になつて梯子を持つて參り家根に上つて長四郎は晝間見て置きましたから其の瓦の間に手を差入れて一羽の雀を掴み出した、そこが小兒であるからもう一羽捕へて俺の有にしやうと復左の手を差入れて一羽の雀を掴みましたが、兩方の手に一羽づゝ掴んで居りますから物に捉ることは出來ず恐々下りて參ると、ツルリ辷つたから堪りません家根上よりツル〱と落ちたのがお庭の葉蘭の植込みの中、然し高い處から落ちたのでありますからウーンと氣絶をいたしました、スルと此の夜秀忠公は御臺樣の許にお出になつてお對話でお話しをなされて居りますと、庭前にて恐しい物音がいたしました故何事なるかと思召し女中を呼んで 秀『只今庭前にて怪しからん物音がいたしたが何であるか調べて見イ 女『畏りました』女中は雪洞を點けて雨戸を開き庭を調べると葉蘭の植込の中に雀を掴んで長四郎が氣絶いたして居りますから人々を呼んで介抱すると漸々にして氣が附いて長四郎 長『是は皆さんお揃ひで 女『皆さんではございません何うなされたので 長『ハイ若樣のお供をしてお庭で遊んで居りました處、家根に雀が巣を作つて居るを見た故取りに上りました處思はず辷つて落ちました 女『實にまア惡戯ばかり爲ざる、主君のお耳障りになりましたから此の事を申し上げますから暫時其處に控へてお在なさい』と女中より此の事を申し上げると 秀『小兒のこと故免し遣はせてはならんと申せ 女『畏りました』と立うとする時に傍にお控へになつた御臺所が暫時待てと止めました。

西洋料理、電氣すき燒、ハイカラ丼
おいしい事京城第一との評判を博し居り候
南大門通 電話二五七一番
カフエータイガー

暦

十二月三十日　九星
舊十二月六日　辛丑
李舍　二黑　坤　除　大安

▲二黑　不得要領の事有る日 新事見合東方は吉 ▲三碧 くれはまになる事有る日 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible]

山路愛山著　新刊發賣

支那論

四六版三百卅頁　定價六十錢　郵稅六錢
[illegible]

蘇峰　徳富猪一郎著　增補

世界の變局

上製菊版總數六百餘頁　定價金二圓五十錢　郵稅金十二錢

五千部限特價貳圓

最近五十年間に於ける世界大勢の遷推移、列强の合縱分離各國民の消長盛衰、主動的人物の企畫經綸を詳叙し、以て日本帝國の將來を達觀し日本國民に多大の警告と暗示とを與へたる世界的名著也。

發行所　東京市京橋區日吉町　民友社出版部
發賣所　京城太平町一丁目　京城日報社代理部　電話六六〇番　振替京城三〇〇番

應需時計貴金屬
最新式流行品着
歳暮景品附大賣出し
京城本町一丁目
懸賞堂ひら井時計舖
電話二二〇番
振替二六一番

ナオル
製造元　釜山薬品商會
京城一手販賣　江里口勇三

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
○十二月廿五日より歲末大寫眞提供 ○九州名所 ○滑稽あわてた消防隊 ○喜劇 [illegible] ○新派悲劇『浮き沈み』全三巻 [illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇
○東京落語柳連雷門助六一行來る
當る一月一日より例年の通り晝夜開演仕候但し晝間は各等半額 [illegible]

黄金館　早川直營　電話二六三七
○自十二月二十日より忘年特別大奧行
[illegible]

MITSUWA LIQUID SOAP.

Very best materials and exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can. It makes the skin soft, smooth and beautiful, while it will not injure even the tenderest skins. Price 35 Sen and 50 Sen.

馥郁たる芳香を有する純良化粧用水石鹼
ミツワ水石鹼
技師　工學士　[illegible]太治郎
肌膚の荒れぬ化粧用水石鹼
定價　金三拾五錢　大壜　金五拾錢

ミツワ石鹼が品質純良にして皮膚毛髮の洗滌に適し、衞生美容の資料となるが如く、ミツワ水石鹼も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料にして、從來の普通水石鹼に反し、本品は刺戟甚しく皮膚毛髮を傷ふもの多きに反し、本品は優秀なる原料と郁たる芳香料とを以て製造せられ、洗滌に際して適量を振出すことを得、他人の使用せる後にも些の不快を感ぜず、殊に此のミツワ水石鹼は皮脂の分泌を多にして而かも皮膚粗硬なる本邦人の化粧用石鹼として、皮膚毛髮の洗滌に適する理想的逸品なり。

本邦人の毛髮に適する完全なる鬢附油
純植物油製改良コスメチック
ミツワ固煉油
みつわ・かたねりあぶら
定價　金貳拾錢
（現品寫眞圖）

MITSUWA COSMÉTIC.

From carefully selected Mitsuwa Camellia Oil which is widely acknowledged as matchless for hair, Mitsuwa Cosmetic is made by the experts in our chemical laboratory through a special process.

It contains no grease nor injurious substances for hair. It is therefore inalterable and will not be rancid as cheaper cosmetics often do. Moreover an exquisite fragrance is blended to it. Mitsuwa Cosmetic possesses all the essential qualities which improves and nourishes the beauty of the hair and maintaines its vitality, lustre and colour. It is the most perfect one ever known to the art of cosmetic making.

Price 20 Sen.

毛髮を梳り髷を結ぶに用ふるコスメチック、鬢附油の類は、多くは動物性或は鑛物性の油を以て製造せらるゝが故に、容易に分解腐敗して厭ふべき臭氣を放ち、毛髮の發育並營養を妨ぐるに到る。然るに本品は最良無比の毛髮油として定評あるミツワ椿油を基礎とし、油脂專攻の學者が最新の科學に據り研究案出せる特殊の方法を以て之を硬化せしめ、溫雅なる芳香料を加へたるものにして本品を在來のコスメチック或は鬢附油に代用すれば、毫も毛髮を汚さず併て毛髮を生ずる憂更になく、毛髮の發育を助け營養を良くし、其色澤を漆黑艶美ならしめ、容色に一段の美を添ふることを得、即ち本品は一般家庭に推奬すべき理想的實用美髮料なり。

ミツワ石鹼　ミツワ家庭藥　提那藏痢剤　肝油ドロップス　御園化粧品　發賣元
東京市日本橋區橘町四丁目　化粧品、石鹼、香油、小間物問屋
丸見屋商店
電話浪花四四八・四四九・四五〇番　電信略號〇ミヤ　振替東京七一〇〇番

蘇峰　徳富猪一郎新著

大正の青年と帝國の前途

上製　總クロース上製天金　函入菊判七百五十頁　定價金二圓八十錢　郵稅十二錢
特製　三百部限發賣　最上洋紙總革製天金　函入菊判七百五十頁　定價金四圓五十錢　郵稅
並製　四六判七百三十頁　定價金八十錢　郵稅八錢

▲本書は、著者が大正二年以來刊行したる『時務一家言』『世界の變局』『大正政局史論』と趣旨一貫、脉絡緊密、更に一段の努力と精采とを擢揮し、其の懷抱せる思想抱負を、歷史的、政治的、社會的、敎育的に觀察し、叙述し、論評したる空前の大作にして、帝國の相續者たる大正の靑年の爲めに、其の眷々の誠を致すに於て、實に至れり盡せる者也。
▲著者は國家の大黑柱、未來の相續者を救治し、匡正し、勸奬し、切磋琢磨の功を擧ぐるを第一とし、將來に對する我が國民の大理想、大抱負、大努力を說示し、我が大正靑年の責任を論明し、其の自覺奮起を激勵せり。著者が慨時濟世の精神は、卷中に橫溢し、愛國殉公の元氣は、行文の間に磅礴たり。嗚呼本書の一たび世に出づるや、滿天下の靑年は、恰も暗夜に燈光を發見し、空谷に跫音を聞出したるが如く、驚喜して之を迎へ、旬日にして第十五版二萬部を刊行して、當代出版界未曾有の新記錄を作り、今や第十六、七、八、九版又賣切となる。是れ著者の主義主張が、弘く天下に容認せられ、宣傳せらるゝを立證するものにして、本書刊行の趣意、聊か亦酬ゐられたりと謂ふ可き乎。然も著者衷心の希望と期待とは、我が大和民族總體の國民讀本たるに在り。本社は江湖未讀の靑年諸君が、此際速に本書を購讀して、著者立言の眞意を諒會せられんことを要望して止まざる也。

大正六年國民日記

日記中の白眉
歲末年始の絕好贈答品

上製　五百頁　定價金四拾五錢　郵稅八錢

□日常生活の記錄たる日記は內容體裁の最も進步し最も完備したるものを要す我が國民日記は其の編纂の周到にして趣味と實益とを兼れ且つ裝幀の淸雅堅牢なるに於て幾多の類書中嶄然傑出し好評嘖々たり直に一本を求めて新生活の新記錄とせられよ

發行所　東京市京橋區日吉町　振替口座一三一〇〇　民友社
賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部
取次所　京城日報社各地支局

京城日報

第三版

廿九日朝刊（夕刊と合せて八頁）

京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社 發行兼編輯人 奧田直 印刷人 小川三之介

[illegible]拒絶したれば世界を[illegible]此大問題も茲に一先づ落着を見るべしと雖へ[illegible]に遂がたらんとは殆んど[illegible]する見解なりとす而して[illegible]の聯合國對獨墺の表裏[illegible]るに獨逸の講和提議の目的并に其の[illegible]戰略操の準備あることは一見して瞭然たり即ち今二三軍事専門家の諸説に從へば獨逸の提議が國内疲弊の餘り戰勝の地位に於て講和を提議し武力すべて英國首相ロイド、ジョージ氏が獨逸にして▲條件を明示し來るにあらざれば講和の交渉に應ずる能はずと聲明せ[illegible]とは見る可[illegible]に破れたる[illegible]とは其國力の疲弊と[illegible]今回講[illegible]ともならば再び該講和[illegible]し來るべく疲弊の一證ともみるべきは西部戰場最近の戰勢が著しく獨逸の戰鬪力を弱め戰線を[illegible]

▲英佛の攻勢 [illegible]微弱なるが爲めの[illegible]其準備にして近く完成せられんか其戰鬪力は大に増進せらるべしと云ふに在り更に獨逸の提議を以て講和の[illegible]以て戰爭持久の責任を聯合軍に嫁し以て國民の結合を一層堅固ならしめ其發奮を促す最良の動機を作ると同時に獨逸は是を機會に戰爭一大痛撃を與へて其講和を餘儀なくせしむる氣運を作るやも知る可らずと傳ふ共判定の孰れが是なるやは戰況の展開如何に俟つの外なし

米國と交戰國

京城日報

[illegible]交戰國政府の講和の議を聯合諸國政府に紹介するや、聯合諸國は其ものを取次ぎたるだけにて、何等の意見を附せず、是に由りて以て米國政府居仲調停の意なきことを信ぜしめたれども、其後大統領ウイルソン氏の名を以て交戰國政府に移牒し講和條件の提示を要求したる爲めに、忽ちにして世間の疑惑を惹起せり。

米國國務卿は此移牒の趣旨を辯解するに甚だ努む。曰く是れ等決して講和を強要するものにあらず、又米國自ら調停者たることを任ずるにあらず、只戰爭の中立者に及ぼす所の利害關係甚だ大なるものあり。或は遂に自ら其去就を決するの必要なきにあらず。是れ其の交戰者の目的及び要求を知らんと欲する所以なりと。

米國政府としては洵とに無理ならざる事なるべしと雖も、聯合軍は春期大決戰の準備に是れ急なりと云ふ場合に際して、戰局の現狀を基礎として和を講ずるの條件を示すことを求めらるゝは、聯合國民の最も迷惑とする所なり。是れ英佛露諸國平生米國民と相善きを以てして、猶ほ且此移牒を喜ばざる所以なり。

吾人常に曰く、戰爭は實力の爭なり。交戰者の一方が險地の敗に陷るか、然らざれば則ち雙方共に力盡きて復た動く能はざるにあらざれば、其局を結ぶ能はず。若し急つて早に及びて和を講ずるが如きことあらば、遠からずして再び三たび實力の爭を惹起し來りて、其禍害を累加するの外なし。故に永遠の平和を贏ち得むと欲せば、交戰者をして極度まで相爭はしめざるべからず。夫れ既に實力の爭なり。議論を挾み、理義を説くも、畢竟無益の業なり。今日の場合に及びて、戰爭の禍害を説き、平和人道を論ずるがごときは、船中大學を講ずるよりも迂なり。

且此度の戰役の張本人たる、獨逸にして、講和を提議するに至る、正しく是れ此戰役の爲めに一大段落を劃するものにして、此段落に次いで更に一大段落を成すは之を今後の戰局に待たざるべからず。而して之を前段に見るに、聯合軍は其實力敵に倍發するに拘はらず、其戰局は甚だ不利益にして獨墺軍は佛露の國内に侵入し、白耳義、塞爾維、羅馬尼の地を蹂躪す。是れ實力と成績との權衡を失ふこと甚だしきものと謂はざるべからずして、勢ひ其平準を得ざれば定まらず。聯合軍は其實力に伴ふだけの成績を收めざれば已むべからず。特に今日のまゝにて和を講ずるが如きことあらば、獨り獨墺をして其權威を揮擢せしむるに止めて、聯合國は復た天下に見るの顏色なからむとす。聯合諸國政府は固より米國政府の善意を諒とすべしと雖も、今日は斷じて講和を云ふべきの時にあらず。既に其時にあらず、其要求條件を云ふべからざるや言を待たざるなり。

鑛業の現況（七）

▽秀代鑛山

秀代鑛山は黄海道金川郡[illegible]面に在りて金銀鉛鑛を産す、鑛業人は水野遊郎にして大正五年一月より同九月に至る産鑛額は金銀鑛六十萬八百二十五貫此價格六萬三千八十六圓六十二錢銀鉛鑛十萬八千八百五十一貫此價格三萬二百六十圓五十七錢なり

△採鑛及選鑛 本鑛山は開坑日尚淺きを以て探鑛を主とし傍ら採鑛に努め鑛石の實鑛を爲しつゝあり採鑛は傾斜坑道を開鑿し其の上下を階段掘の方法に依りて採鑛す大正五年中に於ける坑道掘進延長一千二百六十一尺總延長二千三百五十六尺斜坑掘下深度一百三十尺なり斜坑には十五馬力汽罐[illegible]捲揚機設置の計畫にて目下工事中なり選鑛は手選にして特種の設備なし小割及び水洗手選は專ら鮮人女工を使役せり運搬は選鑛に依りて得たる金銀鑛は之を叺に包裝し牛車に依り常山より約二里を隔つる[illegible]に搬出し之を[illegible]汽船にて鎭南浦に輸送し久原製錬所に賣鑛す鉛鑛は海路仁川に送り汽船に移載し飛鳥神岡鑛山に賣鑛す

講和乎非乎

果して平和來る可きや（六）

□英佛の通牒觀は如何

思慮周密なるウイルソン大統領が交戰國に通牒を發したるには米國として取て當然之を爲すべき必要あり、米國として此事に對し正當とする理由が存するであらう。但だ其の通牒なるものが各交戰國に於て如何に取扱はれて居るかを、各種の報道を綜合して見んと欲す。

□英國民の不滿 米國大統領が各交戰國に送りたる覺書が發表せらるゝと同時に紐育に達したる英國よりの通信は、英國大官連が此事に就て大に憤慨し居る事を報じた。之に並で倫敦電報は英國民が此の通牒に對して頗る憤慨せる旨を報じ、英國の各新聞紙は一齊にウイルソン氏の通牒を以て其の時機を得ざるものとなし、維を揃へて遺憾、不滿の意を表し、而して其の感情は之に對する憤怒と云ふよりも寧ろ悲哀の念に堪へざるが如きものがある。

□佛國民の昂奮 而して佛國の新聞紙は之を迎ふるに冷然たる態度を以てし、其の或ものは『ウイルソン氏が以て悲慘とする今回の恐るべき戰爭が如何にして開始せられたるかを氏自ら餘りに忘却せるは遺憾である』白耳義を虐ぐるものと、之を護るものとは同一立脚點に置かるべきに非ずと論じ、或は將來永遠の平和を實現せんと欲せば是れが保障を得ざる可らず、保障とは何ぞや、曰く獨逸の敗北即ち是なり、獨逸の敗北は權利が腕力に打勝つ所以にして正義が敵國に加ふべき必要の報復なり』と叫んで居る。而して佛國の公衆は此の通牒に對して頗る昂奮し『ウイルソン氏の事を疑惑の眼にて迎へ、佛國の目的が損害の賠償と將來に於ける平和の保障にある事は依然として變りなく、獨逸の名譽ともなるべき回答を米國大統領に與ふるは戰死し又は負傷せる佛國人を侮辱するに均し』と言つて居る。ル・マタン紙の如きは米國の通牒が敵の詭謀に便するなきやとまで云つて居る。

□牢固たる決心 他の聯合國の輿論は未だ知るを得ざるが、英佛兩國の輿論が、敵國たる獨逸の講和提議に對するとは異なり、相當に尊重すべき中立國、而かも米國の大統領の爲したる事に對してすらも、不快の感情を表白して居ることは、即ち聯合國が如何に此の戰爭に對して牢固たる決心と覺悟とを有せるを知るべき有力なる證左であらう。否な米國大統領の手に依て探りを入るゝまでもなく、聯合國は最有力の決心を示して居るのである。英國皇帝が新しく議會の開會式に臨幸せられて陳べたる詔勅は報道せらるゝ所に從へば英國の開戰の目的を完全に成就し終局の勝利を收むるまでは力戰奮鬪せんとする決意あるべし、敵軍の爲めに殘忍非道に蹂躪せられたる吾人の權利を回復し歐洲安全の基礎を鞏固ならしむるまでは吾人一意專心戰爭を遂行する事に吾人の力を集中せざる可らずとある。英國皇帝の此の勅語は、露國皇帝が塞耳維首相パシッチ氏に贈られたる誕生日の祝辭に於て汎スラヴ主義の敵に對し最後の勝利を得べき確信を言明せられたると一致して大に人意を強うするものと感激せられて居る。而して又佛國下院は戰爭繼續に對する現佛國內閣の信任案を三票に對する四百七十九票の大多數を以て可決し且つ今後も一層熱心に戰爭の遂行を期せんことを滿場一致にて宣明したのである。

□講和協定の場合 獨逸の講和提議以來、今日までの趨勢を大觀する時は、吾人は聯合側の何れの國に於ても獨逸の態度今日の如くなる限りに於て和を講ずるを有利とするものは絶無である。若し今後、近き將來に於て形勢が急變して講和談判が開始される時あらば、其は獨逸が其の國是とする軍國主義の兜を脱いで膝を折つて聯合國の前に和を乞ふた時である。併し乍ら獨逸果して其の適當とする範圍を超ゑてまで今日讓歩的條件の下に講和するや否やは頗る疑問である。若し其の條件が聯合國側の不滿足なりに講和することありとせば、即ち平和の鳩は依然として貪慾なる荒鷲と共に眠るの平和である。鷲は飢ゑざるを得ぬ、飢ゑなば鳩を嘴に掛けること必せり。最後に一言を加ふれば、獨逸今回の講和提議は聯合國の同意を得る能はずとするも、然かも歐洲戰爭の局面に大變化を及ぼしつゝある事は認めねばなるまいと云ふ事である。（終）

『大正の青年と帝國の前途』を讀む（五）

十二月十二日上海に於て　大谷光瑞

今日歐洲列強、皆軍備の重擔に苦めり。而して白國獨り列強の恩によりて、この重擔を免るゝを得べきや。列強國民亦自から苦んで、猶白國民を安樂せしむる如き、仁人君子のみなりや。如此く觀じ來れば、其危き事累卵の如く、其薄き事紙の如し。若夫れ、武を練り、兵を養ひ、國力の最高限の軍備を爲さば、獨兵強と雖も、妄りに境を犯す能はず。然るに恃むべきを恃まず、恃むべからざるを恃まんとす。如此くして國亡せざれば、天下の奇蹟之より奇なるはなし。或は曰く、常備兵を減じ、豫備兵を増せば、平時費す所少く、緩急の際は、其用を減せずと。一見知者の言に似て、實に愚者なり。兵の倚ぶ所は、精兵に在り、其次は衆兵なり。古より寡兵の衆を破るは、素より天時、地利を應用すと雖も、至要の素因は、精兵なり。兵役の教練を終へて豫備たるは、不可なしと雖も、不十分不正規の教練の下に豫備たるは、人衆しと雖も、弱兵たるを免れず。故に精鋭の常備兵を蓄ふるに非ざれば、國存すべからず。白耳義の戰時動員を三十五萬とす、三十五萬は少數に非ず、而して三十五萬の兵其役に就かざるに、國既に亡ぶ。戰は機なり、兵は詭なり、徐かなる事林の如し、疾き事風の如し、圖れざる事陰の如し、而して常備の効を以てするも及ばざる事多し。況や野に兵を徴すに於いてをや。是盜去て後に繩を索るなり。世を擧て皆曰く、外交に神ならば、事を未然に防ぐべしと。是未だ恃むに足らず。外交の神に入らば、未然に先知すべしと雖も、防ぐべからず。迅雷烈風暴雨大旱豫知し難きに非ず、然れども之を防ぐは、氣象學者の力に非ず。迅雷を防がんとせば、避雷針を用ふべし。烈風を禦がんとせば、重障を築くべし。暴雨を禦がんとせば、溝渠を浚渫すべし。大旱を免れんとせば、灌漑水渠を鑿つべし。氣象學者は、建築技師に非ず、土木技師に非ざるなり。今外交に據つて、國の安全を得んとするは、氣象學者を賴で、建築土木を怠るなり。不虞の變、焉ぞ免るべけんや。

停雲會詩集（於挹翠松庵）

梅花破屋春（押春）　雲煙

朝跨金鞍錦水濱。夜登高閣醉芳醇。昔知窮巷清貧客。馥郁梅花破屋春。』

同　夢遊

馥郁梅花破屋春。悠悠自適樂淸貧。此閒消息君知否。寒暖和催造化輪。

同　挹松

茅屋數間渓水濱。飯蔬飲茗可安貧。此中富貴何須説。瘦影蛩盤雪春。

同　之亭

月光透隙洞無塵。庭竹婆娑月作鄰。有似主人吟骨冷。暗香斜影一枝春。

同

雲深窮巷不知春。風捲茅茨獨坐晨。門戸參星來稅駕。梅花疑是謫仙人。

丙辰仲秋（於翠松庵）　芙蓉　蟻生十郎

露滴梧桐月上軒。蒼涼夜色絶塵喧。梧前醉倒君休笑。老去顛狂自有存。　雲煙

同二首

萬里碧空河漢流。庭前置酒賞中秋。詩盞三更人去後。洞窓邊是何樓。

同四首　挹松

萬里空明露氣滋。玉輪如洗出山時。曾經照得金樽酒。痛酌須吟李白詩。』

離山三尺淡雲生。皐手雖磨玉鏡明。時有草蟲鳴唧唧。詩人此夜奈餘情。』

更有城頭玉笛催。南樓唯待淡雲開。遙婆亂舞餘隨影。捲並湘簾月不來。』

望見五更雲影開。催呼童子洗金盃。高吟莫厭聲聲拏。如斯良宵逢幾回。

昔歲二首作　南淵　肝付宗次

一回知榮辱似輕塵。落魄何曾尤世人。却歎壯圖猶未就。空迎四十二年春。』

常養身神志未衰。又觀人事易離虧。秋來觸物轉多感。唯有雄心長不除。

江干露臥　南淵

冷氣侵身意遙然。殘光明滅夜航船。江干露臥迎孤月。孤月從波落枕邊。

漢陽公園眺眺　挹松

寒鴉數點度秋空。獨有詩人立晚風。漢塵煙籠下界。萬重山外夕陽紅。

詠野菊　挹松

賞花公子馬蹄香。春去秋來露欲霜。誰識原頭蓬底菊。風光麗處一枝黄。

日報歌壇

■いそがしき師走の町は用なきに人につきていそがしく行く　京城　楢崎あづま

■幸知らず憂ひを知らずしたすらにわれは野に出で働くなりき　京城　小野　葉人

■義姉君の洗ひ髮ながめつゝみまかりし母様こひし時雨ふる宵　京城　市原　初香

■冬枯の木原を白き風吹きて夕日のさへを群れ渡る鳥　京城　つる子

■まこと我れ森に木枯すさぶ日に馬に枯葉を負せ居にけり　京城　谷口　菲花

■ゆく秋を何にの涙ぞ落葉の一つ舞ひあり靜かなるかな　京城　悠華

■いと若く根もなき事に徒らによろこびなきし頃のなつかし

國民新聞創刊二十五年記念出版

天覽

蘇峰文選

總布裝美本　千五百餘頁　定價（三圓五十錢）特價二圓八十錢（送料金三十錢　外國金五十錢）

蘇峰學人は明治大正に於ける文壇の巨擘也。其の文章絢爛精緻にして、思想識見の卓拔雄大なる、眞に當代獨歩の觀をなすもの、蓋し是れ偶然にあらざる也。本書は學人三十年間の傑作を聚收大成したるものにして一面より觀れば時代精神、國民精神の一大結晶とも稱すべく、他面より觀れば學人半生の錦心繡腸と謂つべき也。而して其内容の豐富にして變化極なきは或は經世的論文あり、修養的記述あり、又内外人物評あり、史傳文書の批判あり、其他小品文、紀行文、『隨筆雜記』等あり、長者は千尺の重錦の如く、短者は拉雜たる精金美玉の如し。故に近時の世評此の一卷に集まり、何れも當今文壇の偉觀なりとす。亦た其の一斑を評し得たるものか。何人も座右の師友、書齋の珍藏として必ず一卷を備へらるべき也。

發行所　東京市京橋區日吉町　振替口座一三一〇〇　民友社

賣捌所　京城太平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

手紙上手は一生の徳

顧問　巖谷小波先生　監督　大町桂月先生　完備せる「手紙講習録」に依りて速成的に手紙上手ならしむ　六ケ月卒業　入會好機　會員の手紙を無料添削あり　特典　見本附會則　進呈　會費一ケ月　五錢　全納一圓八十錢

東京牛込區元高田馬場　振替東京二八六八六番　手紙研究會

婦人畫報新年増大號

趣味生活號

（畫報）

◎源山宮竹の御生活[illegible]　◎竹の園生の御生活[illegible]　◎[illegible]

[illegible]

（讀物）

◎適度の表情　文學博士　三宅雄二郎

◎趣味の生活……[illegible]博士　◎趣味ある住宅……池田工學士　◎趣味と美術趣味……[illegible]文學士　◎西洋音樂の鑑賞……[illegible]文學士

◎趣味なき家庭……高島平三郎　◎婦人と讀書趣味……中島德藏　◎趣味の神髄と才能……赤堀又次郎　◎下町趣味と山手趣味……前田曙山

◎趣味は何事にも……農學博士法學博士　新渡戸稻造

◎趣味ある室内裝飾……[illegible]文學士　◎食物の趣味……美[illegible]　◎茶の趣味……[illegible]文學士　◎點留多の選手……[illegible]　◎歌留多の選手……[illegible]小波　◎寫眞を試みて……小笠原夫人

◎新年のお料理……龜井まき子　◎趣味の曼魚……石川[illegible]　◎盆景を習ふには……外山一香　◎挿花の眞髓……兒島晩翠　◎花東……足立與福

◎長編小説　須磨子（二）（婦人の悲惨なる）（肩多き悲戀史）　菊池幽芳

◎趣味のお正月

◎盆石の趣味……田村あき子　◎邦樂の諸流派……鈴木鼓村　◎俳句の趣味……[illegible]文學士　◎十兒手袋の編み方……石井とみ子　◎踊を習ふ方へ……藤間勘十郎

◎謠曲と仕舞……山崎明子　◎趣味ある衣裝……婦人記者　◎趣味の田園生活……あゆき　◎料理のこつ……指原乙子　◎芝居の趣味……小山内薫

◎若く見せるには……遠山博士　◎朝鮮のお正月……坪内文學士　◎弱い子供の育て方……南川博士　◎火鉢とストーブ……深見數藏

◎新年歌……佐々木博士　◎遠山雪（歌）……與謝野晶子　◎床飾になる草花……千葉晩香　◎正月のお獻立……吉村[illegible]子

讀物　◎過ぎし春（小説）……岡田八千代

附録　◎遠くの王女（脚本）……松村みね子

◎新年號　本號に限り定價五十錢　郵稅四錢　半年分前金二圓八十錢　一年分同三圓四十錢（送共）

發行所　東京京橋區鍛冶橋外　振替東京四千九百番　東京社

全國書店賣捌

訪問　歌

タイヨー萬年毛筆

製造元と交渉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし

最近五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲

京城日報社代理部

第卅八次帝國議會

▲貴族院(第一日)

貴族院は二十八日午前十時本會議を開會し徳川議長は巖手縣選出多額納税議員大矢馬太郎氏勅任の件及び去る十一月三日立太子式奉祝の爲め賀表を奉りし次第を報告し次に議事日程に入る最初岩村兼善氏（此間五字電文不明）許可の件を諮りたるに異議無く可決次で故野真孝子二十四日逝去せるに對し弔詞を贈りては如何と諮りたるに之れ又異議無く可決それより奉答文の會議に移り議長は起草の奉答文を朗讀し可否を起立に問ひたるに滿場一致之を可決し次で議長は奉答文を奉呈すべく參内せしに就き黒田副議長議長席に著き日程第一全院委員長の選擧を行ひ開票の結果徳川賴倫侯百十二票の大多數にて當選引續き常任委員の選擧に移りたるが右は各部屬に於て選擧する事に決し十一時卅五分一先づ休憩十一時再開徳川議長は大禮服著用の儘著席奉答文奉呈の報告を爲す先づ午前十時半參内拜謁仰付られ奉答文を奉呈したるに　聖上には更に優渥なる勅語を賜はりたりとて各員の起立を求め議長は左の勅語を捧讀せり

勅語

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

次で各部に於て選擧したる各常任委員の氏名を書記官をして報告せしめ散會せり貴族院の奉答文如左（東京特電）

貴族院議長臣徳川家達誠恐誠惶謹テ
叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス第三十八回帝國議會ノ開會ニ際シ茲ニ盛典ヲ擧ケ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等謹テ聖旨ヲ奉戴シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シテ皇猷ヲ賛襄センコトヲ期ス臣家達恐懼ノ至リニ堪ヘス謹テ奉答ス

▲衆議院(第一日)

衆議院本會議は二十八日午前十時二十五分開會先づ早速副議長議長席に著き本日島田議長奉答文奉呈の爲め參内せしに付き暫らく議長席を汚すべしと述べ諸般の報告あり次で議長は只今の報告中小河源一氏死去の件に就ては遺族に對し弔詞を贈れりと告げ直ちに會議に入る日程は一、全院委員長選擧にて右は前例に依り無記名投票の指名選擧を行ひたるに開票の結果金子元三郎氏百六十二票の多數にて當選二、は常任委員長選擧にて議長は常任委員は各部に於て委員長を互選し其の結果を本會に報告ありたしと告げ十一時五分休憩再び零時五分開會島田議長は奉答文奉呈の經過を報告す先づ午前十一時鳳凰の間に於て拜謁を賜はり奉答文を奉呈したるに　陛下より更に勅語を賜はりたりと述べ議長は肅然起立中に左の勅語を奉讀せり

勅語

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

次で議長は左記委員長の選擧の結果を報告せしめ尚各派交渉會に於て決定せる質問日委員會日其の他諸件の承諾を求め尚議會は二十九日より明年一月二十日迄休會すべしと宣し一時十五分散會せり（東京特電）

豫算委員長　片岡直溫（憲政）
懲罰委員長　森田茂（憲政）
請願委員長　本田恒之（憲政）
決算委員長　加藤彭廉（公正）

○瑞西講和通牒發送

聯合通信華盛頓電報の所報に曰く米國政府の接手せる情報に依れば瑞西は各交戰國に對し講和條件に就て考慮せん事を勸めたる通牒を送れりと（紐育電報）

○中立國の講和熱熾ん

中立國の講和熱今や熾んにして米國を中心として講和同盟成立せんと觀測さる（東京電報）

○獨の嚴封書面交附

獨逸の講和に關する特殊條件

羅馬よりの情報に依れば獨逸政府は各中立國代表者に對し嚴封せる書面を交付したるが傳へらるゝ處に依れば右は獨逸の講和に關する特殊條件を包容するものにして若し協商側の要求あらば之を發表するも差支なしと附言せり（紐育電報）

○墺國新内閣成立

維納通信はクラマルチニッツ伯の新内閣組織成立を報せり（紐育電報）

○日支交渉年内未決

[illegible]本問題解決[illegible]

●獨墺軍の進擊

[illegible]

○英國特別議會召集

英國公報に曰く印度を含める特別議會召集せられたり印度より三名の代表者派遣せらる可し（倫敦電報）

○印度の全力を捧げん

マーダヴァロム氏の公開狀

二十六日孟買發電に曰くトランヴァンコーヴ、ミソール、バロダ三藩國に交々首相たりしマーダヴァロム氏は公開狀を發し印度國民會議回教同盟會議及び其他の政治團體に向つてラタノー市に會合し一の決議を爲さん事を請求せり決議の趣旨は印度は其の人力及資源の一切を擧げて英國の使用に供し英國が戰勝の功を收め獨逸の軍國主義を打破するに至る事を冀ふと云ふにあり尚同氏は今後開かるべき同大會が印度の人力を尚一層使用に供せしめ得る方法を案出せん事を希望せり（倫敦電報）

○露國首相大本營行

露國首相ツレポフ將軍は大本營に向へるが其用向は豫て噂せられたる閣員の重要なる變動に就てならんと信せらる（倫敦電報）

○各元老御陪食

二十八日宮中に於て各元老に對し御陪食を仰付けられたり（東京電報）

○最終内閣會議

二十八日午前十一時内閣に於て臨時閣議を開き寺内首相以下各大臣出席本野外相は獨逸政府の講和提議に對する回答は二十七日佛國政府迄通告する旨を報告したる後左の諸件を決定し正午散會せり（東京特電）

一、帝國大學特別會計中改正法律案二件
一、輕便鐵道請願數件
一、巴里經濟會議に參列すべき臨時職員官制廢止の件
一、巴里經濟會議の決議事項に關する委員會官制及び同委員任命の件

○日獨戰役論功

總督府に百二十三名

日獨戰役に際し直接間接功勞ありたる判任文官其他七千五百五十九名に對する論功行賞は二十八日賞勳局より發表ありたり内朝鮮總督府員は百二十三名あり（東京特電）

○水野氏任官事情

政友會を脱會す

水野錬太郎氏は内務次官就任の交渉を受くるや原政友會總裁の手許迄脱會屆を提出し寺内内閣就中後藤内相との政變當時よりの情義上今回内務次官就任の懇請を謝絶する能はざる事情を陳べ僞内閣に對する政友會の態度に累を及ぼさゞらんが爲め此際黨籍を除かれ度き旨を懇談したるに對し原總裁も事情已むを得ざるものとなし遂に脱會を認容し其結果二十七日の任命を見るに至れるものなりと云ふ（東京特電）

●大正五年經濟概觀

歳末は稀有の活況

本春以來の貿易は昨年出超の後を承け引き續き順調なるのみならず時局の影響に依り金融は益々緩漫にして各銀行は多額の遊資を抱きて其の處分に苦しみ、輸移入品の價格は逐月昂騰するも米價安にて市場は漸次不勢に陷り殊に七八月の交南鮮一帶の出水は米作の前途を懸念せしめ人氣一層沈衰したるが作付反別の增加其の他に依り實際の收穫高は平年作以上にして米價亦好氣配に轉せしより十月末來米穀の出廻り殷賑を加へ各集散市場は近年罕に見るの盛況を呈せり、而して

▲米穀界の活躍 は牛皮棉花等の取引其の他鑛山等に對する放資金の散布等と相俟ちて地方の購買力を喚起し棉絲布、紙、砂糖、マッチ等の如きは價格の騰貴に拘らず賣行良好なるを以て輸移入貿易額は本年十二月十五日迄に於て前年に比し千四百四十萬圓の增進を示せり、然るに船車の輸送力は出穀高を消化すること能はず特に歳晩に進み各集散市場に於ける停滯額は益々增加するの一方なりしを以て同日迄に於ける米穀の輸移出額は前年に比し五百六十一萬圓を減少せりと雖も豆類、棉花、繭、黑鉛其の他皮革製品等の輸移出增加の爲め同貿易額は五百五十萬圓の增進を示せり、貿易の狀況斯の如くなるより各種銀行に於ては滯貨に依り

▲貸出金の回收に幾分の遲鈍を見たるも預金貸出共に著しき增加を告げ一般市場は活氣横溢し朝鮮銀行券發行高の如きは本年十二月十五日の現在に於て四千六百四十萬に達し前年末に比し一千三百萬圓の激增を示せり、翻つて京城財界の狀況を見るに本年十二月十五日に於ける各銀行の預金貸出は各二千三百萬圓にして前年同期に比し預金は三百五十萬圓、貸出は六百九十萬圓を激增し手形交換高は本年

▲十一月出穀期以來十二月十五日迄の累計に於て六萬二千三百枚其の金額千三百八十六萬七千九百三十五圓を示し前年同期に比し一萬四千九百十六枚五百四十萬四千二百五圓の激增を告げ以て商取引の頻繁なるを立證せるが勞銀は物價昂騰の割合に伴はずと雖も一般市況は頗る好景氣にして比較的高價品の賣行佳良なり只滯貨の爲め資金は稍々固定に傾き且つ補助貨缺乏して小口取引は多少の不便を感じ居れるも年末決濟資金の需要多く回收又圓滑にして一般に鼓腹の狀況を呈し居れり

●總督邸立食宴

長谷川總督は二十九日午後四時本府及び所屬官署軍司令部第十九師團高等官五等以上同三等迄文武官約百八十名を官邸に招待し立食の饗宴を張る可し

●朝鮮輕鐵認可

朝鮮輕便鐵道株式會社にては其の經營に係る慶尚北道大邱慶州間の内大邱河陽間十七哩の工事より施行する事となり右區間に於ける線路の選定其他を北筋に認可申請中の處廿七日附を以て認可せられたるを以て不日右工事に著手するの豫定なりと

一年と一生の總勘定

山縣生

▲歳末は一年の總勘定を爲すべきの時なり。借りたるは拂ひ、貸したるは集めざるべからず。思ふに人々は今之を爲すに忙殺されつゝあるならん。

▲貸借を差引きて殘る所は如何。或人は餘り、或人は足らざらん。餘れる人は愉快に、元氣よく新春を迎ふべけれど、足らざる人は金策に、辨解に日も維れ足らずして、却て新年の來るは芽出たからずして、却て兇運の因なるべし。

▲樂しく新年を迎ふるも、苦みて歳末に遭ふも、一に其人の平素に於ける心掛如何に因るは言ふ迄もなし。年茲に明くれば十二箇月を經て必ず暮るゝは最初より明白なる所、豫めこれに處するの覺悟あらば歳末に及びて狼狽するの要はなからん。

▲一年の終りに總勘定を爲さゞるべからざる時期の到來するが如く、我等は生涯の總勘定を爲さゞるべからざる時期の必ず到來するを覺悟せざるべからず。歳末の總勘定は金錢の問題以外に大に我等の心を煩はすべきものあるなし。大に憂ふるを要せじ。されど生涯の總勘定に至りては問題はすべての方面に及ぶ。

▲我等が此世に生を繼ぐに當りて受くる所の恩は大にして多樣なり。如何なる人も絶對に獨立して生活する能はず。之を大にしては君の恩、國の恩、社會の恩によりて平和に生きこれを小にしては家族、親近及び先輩友人の恩によりて樂しく日を送る。

これ等は皆我等がいつかは返濟せざるべからざるの債務なり。我等は現に之を返濟せんと日に努力しつゝあり。既に此義務を濟まして却て債權者たるの位置に立てる人もあらん。然も斯の如き人は稀有にして、我等の大多數は猶ほ少からぬ債務を負ひつゝあり。我等のうち幾人が、生涯の總勘定を爲さゞるべからざるの時期到來するの時『我は我義務を了へたり』との自覺を以てこれに遭ふを得るや。

▲一年の終りの總勘定に安心を以て處し得るが如く、願はくは我等の生涯の終りの總勘定に毛頭の煩悶なからしめよ。願はくは我等が喜と希望とを以て來年を迎へ得る如く、我等をして喜と希望とを以て來世を迎へしめよ。

●地方歳晩

一般に好況也

本年の地方財界は農産物の增收鑛産物の增加之れに加ふるに漁獲の好況を以てし其の價格亦之れを昨年一昨年に對比すれば概して高値を示し居れる爲め各地を通じ

▲豫想以上の好況 を以て越年せんとしつゝあり殊に米の如きは最近獨逸講和提議の影響を受け其の價格に一張一弛あれど尚ほ玄米石十三圓臺を維持し昨年の同期に比し一圓五十錢强の上値にあり鑛物も新採掘の頻出並に戰亂の爲め價格暴騰し居り漁獲も今日迄の所意外に水揚げ多きものゝ如し尤も全南に於ける棉作は今夏の水害を受け三四割の減收を見たるも平年に比し原棉の暴騰は此の減收を償ひて餘りあり乃ち何れの方面より觀察するも本年の地方財界は悲觀を要せず從つて資金の撒布も少なからず其の購買力も旺盛なる爲め輸移入品は概して價格の暴騰せるに拘はらず其の賣行き旺盛を呈し居々

▲一般の金融界 は頗る繁忙を惹き通貨の膨脹を誘致し朝鮮銀行券發行高の如き昨年の歳末三千四百萬圓に比し一千二百萬圓を增加せるの有樣なり唯一事遺憾なるは船車の輸送力不足にして朝鮮生産品の移出を幾分阻止され各地滯貨の儘越年する事なるもコハ新春に入り其の解決を俟つ外なからん之要本年歳晩の半島財界は何等かの材料により急激に米價の暴落等を見ざる限り無事稀有の好況を以て過すべく各地を通じ倒産者を生ずる等の不祥事は殆んど全く見るを得ざるは深く喜ぶべし（鮮銀某當局談）

叙正三位 正四位[illegible]

[illegible]れも二十八日限り本年の御用納を爲[illegible]の打合せを爲し退出せ[illegible]

●秋山大將歸任

南鮮各守備隊巡視中なりし駐劄軍司令官秋山大將は松井參謀野津副官を隨へ二十八日午後七時龍山著列車にて水原より歸任せり

■南言北語■

露領黒海沿岸のパッーム、と云ふ戸數三千許りの一部落に行くと日本種の柿木、桑園、竹林、稻等が村一面に繁殖して居て風俗習慣迄が日本に似て居た處が澤山ある▲餘り不思議なので其譯を聞くと二十年前此村にチエールコフと云ふ博士が居た▲或書籍に日本の風俗民族のあるのを讀んで大の日本贔負となり▲日本から草木の種子や其他の日用品を取寄せ一村を擧げて日本村としたのだとは面白い▲「紐育ヘラルド」の巴里版に『戰場の賣物』ソンム戰場の中心にある十町歩の地面獨軍及び英軍の塹壕あり希望者はアミヤン市サンリイ一〇グラアデルに申込まれたし』とある▲今度の戰爭で戰線に當つた處は家は壞され土地は荒される今迄の富者が一文なしになる▲政府は固より困窮者を救ふ併し戰爭の爲めに金の要る今日一錢でも國家の負擔を多くするのは國民として心苦るしい▲自分の財産と云へば戰場にある土地のみ之を賣るより外衣食の途はない賣るとすれば金持の米國人に賣るより外はないそれで『紐育ヘラルド』に廣告したものらしい▲米國大統領選擧に際してウイルソン氏の選擧運動費の出處は發表された▲近著の米國新聞にはヒユース氏の運動費の出處が出てゐる此は公然屆出づる規則になつてゐるからだ▲其表によるとヒユース運動費の總額は四百八十八萬圓之に對する寄付金額四百八十四萬圓不足額が約四萬圓位になつてゐる▲寄付者の數は三萬四千二百五人一々名前が公表されてゐる日本の選擧も斯うやつたら面白からう

●泥醉して凍死

二十六日朝慶北金泉本町池田銃砲店附近の路傍に[illegible]し檢視を了し死體は面長に引渡したるが同人は金泉某店に雇はれゐたる[illegible]身の身體の自由を失ひ持病の疝氣に斃くは敢へなき最後を遂げしものなるべしと[illegible]

ほとゝぎす

新年號出來 ◉倍頁定價五十四錢郵税二錢五厘 ◉東京牛込船河原町ホトトギス社

兒（七十枚の長篇）……虛子 ◉僧院行……小山內薫 ◉湖の唄 ◉俳諧役者の戀……南保布[illegible] ◉專門家に非ざる人の俳句鈔……虛吼代議士 ◉濱洋博士 ◉[illegible]人侯爵 ◉百選[illegible]伯 ◉春生小僧 ◉晶子女史 ◉尾上伊三郎丈 ◉[illegible]吉氏 ◉香塚翁 ◉背嵐局長 ◉大人十色の批評感想興味如湧 ◉水仙花（鳴雪以下十九氏） ◉美濃湯之島紀行（虛子、樂堂等） ◉蜜柑園の記（虛子） ◉大正五年の俳句界（虛子） ◉月並俳句の研究（虛子其他） ◉進むべき俳句の道（虛子） ◉雜錄 ◉俳句入門欄 ◉募集句七題 ◉會報 ◉婦人欄

本月三十一日は日曜日に該當致候處平常の通り營業致候間此段廣告候也

大正五年十二月

朝鮮銀行
株式會社 第一銀行京城支店
株式會社 百三十銀行京城支店
株式會社 十八銀行京城支店
同 龍山出張所
株式會社 漢城銀行
株式會社 漢湖農工銀行
株式會社 京城銀行
株式會社 朝鮮商業銀行
株式會社 韓一銀行

世界公論

一冊定價拾九錢共 東京小石川窪町 世界公論社 振替東京二六八六番

◀新年號の偉觀

議會解散と國民の自覺 社說
▲小說 君が峯 芳井初太郎? 布陣
▲三十八議會と各政黨の心裡……青山南六
▲不底なる對支外交と霞ケ關……松川溪南
▲人物月旦 松木幹一郎 兒玉秀雄
經濟界の攪亂者鈴木商店 記者
竊賊は如何なる家に入る 覆面郎士
▲千古の好機と百世の一儲主義……添田博士
▲淺薄なる國民の一儲主義……澀澤博士
▲社會の實問題……[illegible]
▲懸賞俳句 內藤鳴雪
新重商主義 中日實業專務取締 尾崎敬義
▲植民地省設置說の出所……岩崎潔治
▲對外貿易發展策 三井清純
記者生活
減債基金廢止論
▲新らしい女總まくり 中島忠利
關東酸曹株式會社の現況 牧野主幹
▲政黨の使命 加藤[illegible]

旅行中に付年末年始の禮を缺ぐ
東京 杉山孝平

日韓書房

新版報告

小山內薫作 伯林野話 定價六十五錢 送料八錢
本間久雄著 ワイルド童話集 柘榴の家 定價一圓三十錢 送料十二錢
二葉亭主人譯 片戀 定價九十錢 送料十錢
菊池幽芳著 毒草 定價一圓二十錢 送料十二錢
須藤寒泉著 少年お伽 古戰場物語 定價六十五錢 送料十錢

京城本町二丁目 電話一四一五番 振替口座一五一一番

蘇峰學人著 兩京去留誌

平福百穗、山下鈞、結城素明、柳田謙吉、前川千帆（五氏畫）
四六版總クロース 繪畫寫眞三十二種 定價壹圓五拾錢 郵稅十二錢

著者の東京、京城間を往來する其の幾回なるかを知らず。而も其の往來每に感興愈々新鮮にして、其の秀聲の觀察と獨特の藝筆を揮つて、兩京間に天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。或は觸目の偶感を記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を小記し、而して不用意の文字其精洗鍊し、而も簡淨瑰宕人文品との文藻を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子を著者の剖して剩す所なく『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長物として之を平福百穗氏を初め、諸書伯の繪畫を吐露して、萬丈の光焰を揚ぐ。而して加ふるの妙あり。體裁清雅高尚にして、書賞に臨んで、座右或は、旅行等の好伴侶として最も適當なる近時の好著述なり。

京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番
賣捌所 京城日報社代理部

後の書類の作成に就き申し合せを爲し……大同は二十九日開かるゝ筈なるが我公使館にては該交渉は本……終了せざるべしと觀測し居れり（北京電報）

……たり（紐育電報）

●燒芋にバタを附けて
高井文學士お自慢の暖爐兼厨爐　實質的で經濟的な生活法いろ／＼

『君に今バタ附きの燒芋をあげるから鳥渡待ち給へ』と高井先生はコークス用の暖爐兼厨爐にさつまいもの肥つたのを入れた、客間の暖爐は

◆狹い日本室　を暖めるにも充分であり且つまた御飯を炊きおみおつけを煮るにも餘りある、先生の言によれば京城では瓦斯會社のコークスが餘りあるほど製産されて價値も非常に廉いから他の薪炭よりも經濟だとのことまた其の

◆暖爐使用法　先生獨特の妙案になつて確かに一般の家庭向きである、先生また曰く世間の官舍などで常に暖爐を焚いてゐる家庭は兎に角僕の家の如く常に暖かくて火種のある家は稀らしからうしかも

◆特別な炭代　が要る譯でもなく此の小さい一つで炊爨用と採暖用を兼ねてゐる點は確かに實質的で經濟的なやり方であらう世間の新家庭などでは是非學ばれたらよからう僕の家庭ならどなたにでもお眼にかけると先生お自慢の燒芋が出來た

◆しかし非常　な上出來である、先生は雜貨屋の包み紙を叮嚀にとり出しそれを小さく切つて客の手に渡し『それで左手に芋をもつて右手の匙ですくひ給へ』となるほど匙でみなとれる、先生曰く『燒芋は切つて燒くのは味が逃げて美味しくない』と先生のやり方は一擧手一投足にも

◆無駄がない　次に先生は籐椅子を指して曰く『君此の椅子をいくらで買つたと思ふ』と少くとも四五圓の代物かと客の微笑する間に『それは古道具屋で廿五錢で求めたものである』と大に客の度膽をぬく先生また曰く『日本の婦人は保守黨で困る、何も

◆ハイカラを　眞似よとは云はぬが他國の長を採り短を捨てゝドシ／＼日常の生活向きを改良する覺悟と研究心がなくては叶はぬ』と、先生は奥さんに數年前流行のお高祖頭巾をかぶらせてゐる、しかも頭と顏のところには

◆手製の毛皮　が用ゐられてゐる、先生曰く『日本人は寒い國に來て毛皮を用ゐるを知らぬ――不廉い絹物をきて顫へながら暖かい毛皮であたゝまることを知らぬ、しかも朝鮮の毛皮は驚くべく廉いのにそれを用ゐずして寒さに顫へるとは何事ぞや』と先生は鍾路で白い

◆羊の毛皮を　求めこれでぬく／＼した奥さんと坊ちやんのチヤン／＼を作り先生また堂々たるチヨツキを拵へてゐる、これをハイカラな變りチヨツキの値段に比較して見給へこんな立派なものが三つも四つも出來ると鼻をヒク／＼させ給ふ先生また曰く『僕の妻君には常に

◆袴と靴を　はかせてゐる、靴は下駄よりも遙かによく安定を保たれ袴があれば著物一枚分ほど温かでしかも帶が要らず椅子に腰かけても便宜である』こんなことを云へば際限がないが日常の生活振りは少し考へると否とでは

◆大した相違　があると――併し先生はからして餘つた金を悉く慈善事業に投じつゝある奇特家である

松飾りの取付け

●貨物列車の立往生
滿洲の大吹雪　＝汽鑵車の水量缺乏す＝

二十五日午前三時五十分大連驛發旅順行の貨物列車が營城子驛に至りし時汽鑵車の水量全く缺乏し立往生の止む無きに至りたるが斯る出來事は極めて稀有のことにして急報に接し大連驛より救援車を急行せしめたるも遂に旅順一番列車の發車は二時二十分遲れ營城子に於て立往生をなし汽鑵車を牽引する等種々暇取りたれば彼此約三時間の遲著となれり又前日來の大吹雪のため本線貨物列車大連驛午前四時四十五分著のもの一時四十八分七時十八分著の分は一時二十三分間十時二十分著の分は一時二十四分間の遲著となり尚本線午前八時著の客車は八分間遲れて到著し其他大概三四分宛遲れざるもの無しと（大連）

●海州稅關倉庫其他の燒失は放火と判明す

十一月十日午前一時頃黃海道海州郡西邊面龍塘稅關波止場より出火し稅關物置庫一棟（損害三百圓）及び附近構內に貯藏中なる海州府本町仁川共同組運送店海州出張店所有の石油四百九十餘箱（二千八百餘圓）其他船具、木炭、ペンキ雜貨等合計二百五十圓を燒失したる火災ありたることは既報の通りなるが發火の原因に疑しき點あり放火の見込みにて海州警察署にては嚴重調查中同地北本町居住の運送業佐々木庄太郎（三七）は從來仁川協同組運送店と提携して營業せしも協同組は本年八月中海州に出張所を設け同人との關係を絕ちたる爲め營業上非常の打擊を蒙り爾來協同組店員阿部某とは荷物の爭奪に就き屢々紛擾を釀したることあり兎角協同組を怨み居りしものにて同人は十二月十日夜は龍塘浦金聖元方に宿泊し一旦就寢の後間もなく發火するに至りたるものなるより取調の末全く同人の所爲と判明したり

●京畿丸の行衛今尚不明

京畿丸搜查に向へる總城丸は二十八日朝出發同午後三時雄基に到著せるが京畿丸の消息に就ては今尚不明なり京畿丸には乘客六十一名內四名は內地人にて羅南步兵第七十三聯隊附吉野中佐も同船に乘込居れり（清津特電）

●文武官陞敍

二十八日文武官華族百八十八名に對し位階陞敍の御沙汰ありたり重なる者左の如し（東京特電）
從三位子爵　池田　正保

……政府之を……用する事となりたりと傳ふ……如き此間何等の消息なし……年五六月の交米の金融……起……利落付氣味にして……ル低落せり（東京電報）

●五晝夜雪の海上に漂ふ
三日間は絕食

去る廿三日朝大連に入港せる南洋丸は門司より大連に航行の途中三山島西南二十五哩の海上に差蒐りし際雪中に舟艇に當りて頻りに救助を求むる支那漁舟あるを發見し

▲直ちに停船　して之を救助せるが救助されたる二名の支那漁夫は殆んど半死半生の境にあり南洋丸船員の手當を受けて漸く生氣付き其の語りし所に依れば彼等は金州管內廣鹿島の漁夫にして王滿順（三）及び王滿倉（三）なる兄弟なるが去る十七日自己所有の漁舟にて漁撈に出でたるに降雪の爲め方向を誤り遁げぞ／＼陸地に出會はず同日迄で五日間雪の海上を漂流し食を取らざること三日間に及び櫓は折れ力は盡き最早

▲此上は運命　に托せんものと浪の間に／＼漂ねる折柄南洋丸の船影を認めて救助を求めたるが救助さるゝや一時に疲勞と寒氣と饑餓にて失神したるものなりとの事に船員之を憐み手厚く彼等の健康の恢復に努めたる結果漸く步行も適ふ迄になれるが彼等の漁舟は南洋丸に救はれたるも同舟にて歸鄕も出來ず金もなきより目下民政署にて保護を加へ居れり（大連）

●漁夫數名の格鬪
加害者二名逮捕さる

去る十九日の夜十一時慶北迎日郡滄州面浦川に於て數名よりなる漁夫の一團大爭鬪を惹起し互に小刀を以て鬪ひたりこの急報に接したるその筋より係官現場に急行したるが事のその筋の耳に入りしと覺りたる一團は負傷者を殘し逸早く何れにか逃走したる跡なりしより取り敢へず負傷者を九龍浦の小池病院に收容して應急の手當を施し一方加害者搜查に著手し翌廿日朝九龍浦に於て一名の加害者を逮捕し目下取調中なるが爭鬪の原因は未だ確と判らざるも多分賭博その他不正行爲のその筋の耳に入りたる事にても怖りそれが內輪より出でしものと思ひての遺恨を晴らさんがためなせしものならんと尚ほ他にも連類者ある見込みにて搜索中負傷者は何れも咽喉部胸部等を切られ居れりと

●淺瀨に吹上げらる
門司丸の遭難

廿七日門司丸（一、七〇〇噸）は北海道より房州舘山に向つて航行中舘山沖に於て激浪に遭遇し淺瀨に吹き上

●一千五百餘圓を竊んで逃ぐ

馬山俵町生れの余大用は（三七）十二月五日頃入京し昌成洞余秩禮黃方に滯在中十二月十九日午後五時半頃家人の不在を見澄まし同家の櫃の中に格納しある現金一千五百五十九圓を竊取して逃走したるも二十六日遂に鍾路警察署の手に逮捕されたるが尚ほ一千五百三十餘圓を持所したりと

●連絡船の大繁昌
一二等滿員を告ぐ

廿五日午後十時下の關出帆關釜連絡船高麗丸は風濤嚴しき爲め途中より引返し六連島に避難廿六日午前九時同對馬丸も同樣下の關に引返し同日午後十時同地出帆さくら丸は辛うじて廿七日午前九時四十分釜山に入港し、六連島に避難の高麗丸は午前解纜し午後三時釜山入港の無線電信ありしが漸やく午後八時十分入港せ

●お正月の活花いろ／＼

お正月の活花は何といつても目出度い松竹梅に始まつて椿、南天、藪かうじなどに

▼迎春の氣分を見せる、京城の生花材料は主として內地下關、廣島方面から來るが今年は花の綻び初めた八朔梅が澤山來た、これは主として廣島ものが

▼移入　されるがこれまでのやうに溫室咲きでなく眞當に咲いた芳香を其の道の人は何よりもよろこぶ、竹は五三竹からもうさら竹、大名竹に金明竹何れも一本十錢から卅五錢まで

▼松は　日本內地から來る五葉の松、若松、老松、根引松何れもお正月らしくてお芽出度い、椿は白のわびすけ、椿から紅椿、絞り、牡丹咲きそれに山茶花の花もおもしろい

▼次に　お正月に適はしき南天、上南天の枝には山南天の新芽もうれしくお正月に因むで芽出度がられるやぶかうじの紅い實も風雅なもの、一つである、水仙はまた閑雅なる日本座敷に適はしく其の他萬年青や寒菊の花もとり／＼に趣きあり

●豺三名を傷く

去る二十五日拂曉黃海道瑞興郡下湖里面新井里居住吳宵先（三）方に飼養の豚を食はんと二頭の豺が出て來りしを宵先が屋內より走り出でゝ追ひ拂はんとせしに咬み附き尙ほも厠に入り居りし大呂かめの（三）の乳房に咬み附きたればかめのは援けを呼びつゝ屋內に逃げ込み內より戶を閉したるに猛り狂へる豺は戶を突破して屋內に飛び込み其の儘裏口に出でたり此の騷ぎを聞き付けて馳せ附けたる附近の平尾政藏（四）の大腿部に咬み附き同人を押し倒して尙ほ咬附かんとせしも政藏が力を限りに拳を固めて撲りたる爲め山傳ひに逃げ去りたりと

●廣南教會獻堂式

日本組合教會鮮人傳道部の所管にかゝる廣南教會にては今回新築會堂落成したるを二十八日午後二時半より獻堂の式を擧げたり當日は宇佐美、松永の兩長官、金谷府尹、李完用伯、趙重應子等の各貴族其他の有志信徒等百餘名列席し金麟氏の司會にて擧行、渡瀨牧師の說敎、宇佐美、松永、金谷氏等の祝辭日本組合敎會を代表して山本牧師の祝辭等あり盛會裡に三時半散會したり同會堂は敷地購入會堂建築其他の設備等に約一萬圓を要したるが全部內地及び朝鮮に於ける組合敎會信徒の醵出にかゝるものにして今後は同組合敎會の傳道本部を置き渡瀨山本の兩牧師等ら全鮮に亙り傳道を試むべしと

●支那流通の紙幣僞造を企つ

京城本町生れ尹錫天（五六）通洞居住元調查局技手成運鎬（三六）の兩名は共謀し安東縣居住の申參省なる者と共に支那東三省にて流通の紙幣を僞造せんと企て十月十五日より著手し申參省より資金二百餘圓を受け京城にて其の材料を買求め十月二十四日安東縣へ向け龍山驛より出發せんとする所を捕はれ京城地方法院にて錫天は懲役十箇月運鎬は同六箇月の處分されたり

●仁川神社祭典

仁川神社にては來る三十一日午後八時より大祓式明年一月一日、午前十時より元旦祭、同三日午前十時より元始祭を執行する由

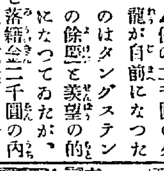
●猩紅熱

京城壽町三十一番地山田千代子（六）は二十六日總督府醫院にて猩紅熱と診斷即日順化院に入院し患家は消毒をなせり

●連絡船で卒倒

二十七日午前釜山入港さくら丸の乘客が上陸せんとする際三等船客の妙齡の婦人が卒倒したるより大騷ぎとなり船醫は直に診察したるに全く癲癇病と判明したり同婦人は長崎市浦五島町增田すげ（一八）と云ひ他に二人の女と俱に仁川の料理店某樓へ酌婦として抱へられ內地より渡航し來りしものゝ由なりと（釜山）

壽座　正月元旦より大興行　大阪天活會社專屬　名優大歌舞伎　市川鶴之助　市川瓢藏　中村新駒　外四十餘名大一座



▲例の二千圓の久龍が自前になつたのはタングステンの餘恩と美望の的になつてゐたが、私が聞いて見ると落籍金二千圓の內千八百圓は久龍自身が廣島から取寄せ不足の二百圓を或るタングス氏に出して貰ひ自由の身になつたわけ▲して見ると久龍に落籍を言ひ觸らさせたタングス氏は却々タヾの鼠ではない▲だが何うして久龍が此の金を有つてゐたかといふに京城に來る話の纏まる時金の入用は大して無かつたのだが自身を二千圓位に光らせて置かなければ朝鮮へ行て大手を振つて步けないといふ所から▲二千圓を借り込んだが別に入用も無いのでその內の千八百圓は廣島に預けて置々と乘込んで來たところ▲イクラ二千圓でも抱ねの身では氣儘も出來ぬので來る匆々負債に意つたタングス氏の影に隱れて自分で自前になつたものだらうだ▲此女中年の生だ

……分隊に届け出でたるものあり分隊より……憲兵警察署現場に急行し取調べたる結果死者は長崎縣高原生れの湯津……正章（二八）といふ菓子職人なる事判明……れ二十五日夜も何れにてか飲酒泥醉し前記地點通行中共同便所に入らんとしたる際過つて躓き倒れ泥醉せる……過般……準備さ

土地貸付　京城府永樂町二丁目六十番地　一、土地貳百拾九坪五合參勺　右土地競爭入札ニ依リ貸付ス委細ハ十二月二十九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ　大正五年十二月廿九日　朝鮮總督府

支那旅行中に付年末年始の御挨拶缺禮仕候　村瀨鎌治郎

旅行中に付年末年始の禮を缺ぐ　京城東小門外　平山政十

京日案內　普通 一回前金一行三十錢　番外 一回前金……　▲申込後中途掲載中止の節は前金返戻せず
◎門生入用　尋常卒業程度　十四歲より十八歲まで　三阪通　玉川寫眞部　984
◎金融　月收の御方へ秘密信用便宜立替御相談又御來談　大和町三の三二（柄澤前）起木　明治町筋電二六三六　989
買入　古本なら野村　買入讓賣御報參上　野村書店　827
中古ミシン買外　御用の御方は御一報次第參上仕候　京城鍾路二　楠ミシン店　電二三三八　985
恩給年金低利即時現金立替　短期無保險並に勸業貯蓄債券買入　京城永樂町二丁目（金光敎北手）國江商會　830
質　確實にして親切　明治町二丁目交番東小路　片山質舖　949
給仕入用　高等小學卒業程度年齡十五歲以下　京城南山町二　電一〇八六　藤田組詰所　986
恩給年金長期即時　步二厘五毛　三年迄無保險　京城南大門外御成町　西鮮支店京義線沙里院　山口屋　843
質屋　設備完全　秘密嚴守　京城明治町二丁目（舊蟠町）　大塚質店　取扱丁寧　御報參上　963

最新刊
書名	著者	定價
◎大亞細亞主義論	小寺謙吉	三、八〇
◎佛教藝術第二編佛教の美術及歷史	小野玄妙	五、〇〇
◎支那哲學史講話	宇野哲人	一、六〇
◎佛蘭西文學史 後篇	久保正夫譯	一、七〇
◎憲政の巨人アスキス	永山定富	二、〇〇
◎懺悔錄 ルソオ	石川戲庵譯	二、〇〇
◎英語自修辭典	佐久間信恭	特一、三〇

當世百道樂　堀內新泉著
書名	著者	定價
◎杖の跡	大町桂月	一、三〇
◎大正五人男	村上浪六	一、〇〇
◎輸入神曲	古典文學研究會編	二、五〇
◎蠻勇論	上泉德彌	一、〇〇

京城本町二丁目　電話二〇八六番　振替京城二五七三　大阪屋號書店

二重底　堅牢無比の東京靴　別製經濟靴（編上）特價金二圓九十錢
靴　特製（深ゴム上、雙形、短靴、乙號を除く）特號金五圓　甲號金四圓五十錢　乙號金四圓　送料內地十六錢鮮滿四十錢
▼靴の生命は底と叮裁とにあり　▼底は二重にして命知らずなり　▼叮裁の優美なるは本店の特色　▼防寒靴其他種々特價調製
東京市神田區和泉町　內務省鐵道院郵便局電話局御用　ヤマト商會　振替東京三四一八六番

新刊圖書御案內
書名	著者	定價
◎系統的國語通覽	水野平次	一、二〇
◎英國經濟的勢力擴張	堀川美哉	一、〇〇
◎獨逸國南國順禮記	來原慶助	五、〇〇
◎支那貿易案內	長谷川櫻峯	三、五〇
◎商業寶鑑（上）	小林行昌	一、五〇
◎簡易生活百話	西村才介	六〇
◎英語獨習辭典	佐久間信恭	一、八〇
◎民事訴訟法論	岩田一郎述	一、〇〇
◎刑法論	岡田庄作	一、五〇
◎ロダンの言葉	高村光太郎	一、五〇
◎流轉のはじめ	小林榮子	三八
◎大正青年と帝國の前途	德富	八〇
◎高等文官試驗問題集	巖松堂	六五

京城本町二　電話一一六六番　振替京城四五四番　巖松堂書店

御歲暮の御進物には
嶋屋　特製五色詰合　なら漬　桶詰に限る　一個七十錢より三圓迄各種　高尚優美　經濟美味で　もらつたお方が大變お嬉びです
外に　守口味淋漬　山葵漬　蕪千枚漬　鮭糀漬　等色々最適品があります
御入用の際電話九〇三又は二三三〇番へ御申附け下されば直ぐ屆けます（相場表差上げます）
京城府岡崎町（青坂交番所前）嶋屋本店漬物部　京城府北米倉町　嶋屋市內販賣部

客室　食堂　完備　市內西四軒通入堂の驛所にして庭園廣く眺望絕佳至つて閑靜の地なり　佛蘭西料理調進　宴會は特に御便利に取計可申候　京城南大門通三丁目　ファミリーホテル　電話一二二八番

▲山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社　發賣

怒濤の月

三十六　小林蹴月作　武内桂舟畫

理外の理「七」の一

『黒川、醫者は何と言ふて歸つたかの。』

朝の紅茶を啜つて、一通り新聞の相場欄に眼を通し了つた主人男爵は、何か思惑の違つた事でもあつてか、チヨツと忌はしさうに舌打しながら新聞を疊へ投げ出されたが、その眼を直ぐに、敷居外に控へた彌兵衛老人の禿頭に轉して、至極的に斯う訊ねられたのである。

『はい、別段御心配遊ばさる程の事はないと、斯様に申されまして御座います。私も先刻鳥渡容子を見に參りまして御座いますが、もう全く昏睡狀態から醒めてお在で、二語三語昨夜の譫を言はれた位で御座いますから......。』

『左様か。それなら大きに安心ぢやが、乃公は又、一時の有様では、彼の儘死んで了ふのか知らんと思ふた位ぢや。』

『然し、當分は、身體を動かしたり精神を勞ふやうな事があつてはならんと、先生がよく〳〵申されましたので、千代と島の兩人が附き切りで看護婦の役目を勤めて居りますで御座います。』

『ふむ、千代と島とで......いや、千代と島の名を聞いたので思ひ出したちやが、仙は今朝になつても、何の變りはない容子かの。』

『御前、實はその仙の儀で、お居間へ罷り出ましたので御座いますが、彼女は、口の達者なに似合はず、臆病な性質と摑見ねまして、昨夜の椎の木の根元に現はれたとやら申すひうどろ〳〵の一件をば、盛んに申しつゞけまして、何れほどお目を懸けて頂いても、斯様のお屋敷にはもう、氣味がわるくて一刻も御奉公が出來かねるから、何卒お暇を頂ひたいと、只今も現に、自分の衣類やら手廻りの物を取片付けて居ると云ふ始末で御座います。』

『はゝゝゝは、困つた事を申す奴ぢやの。可なりまめに立ち働く奴ぢやが、何を穿き違へて、そんな迷信的な事を申しとるんぢやらう。元來彼女が新い目に映つたと申す化物と云ふのは、どんな恰好を爲て居つたのか、お前から質ねてでも見たのか。』

『はい、いろ〳〵と質ねても見ましたが、私自身でも餘りの不思議さに、態々椎の木の下へ參つて、實檢致しました儀に御座います。』

『は、はあ、左様か。多少は、お前の心にも合點のゆく節があつたかの。』

『いや、別段是ぞと思ひ當る程の事も御座いませんでしたが......。』と、彌兵衛老人は、稍皺枯れたる聲を潜めて『見たと云ふ本人の申しまするには、何でもその怪物と云ふのは、骨と皮ばかりに痩せさらばれて、蓬なと髯を生やして居る、身の丈のすらりとした肚い男であると、斯様に申しますので御座います。それから、私自身に彼處へ參つて、檢分致しまする内に、何心なく椎の根の枯草を分けて見まするとな......。』

『何ぢやと、黒川、椎の根の枯草を分けて見たらば、其處に人間の髑髏でも、轉がつて居つたと申すのか？』

男爵も、幾分かは、薄氣味のわるいらしい調子で、濃き眉根を打顰めながら、膝を前に乘出されたのである。

『左様では御座いませんが、こんな物が取落してあつたので御座います。』

彌兵衛老人は、斯う言ひながら、懷中から磨ぎ澄ましたる一挺の西洋剃刀を取出して、男爵の眼前へ差置く。

『はての。そりや剃刀のやうぢやが、物騒な物が取落してあつたもんぢやの。』

男爵は、愈々不審に堪へがたき氣色で、熟と剃刀の刄を凝視めながら二の腕を組まれた。

『御前、幽靈と此の剃刀とは、果して關係のある事か無い事かは、元より即斷致しがたい儀では御座いますが、斯る物の落ちてあるべき筈のない所に、落ちてあつた事と申し、彼の大雨の中に、痩せさらばれた肚い男の姿が、他の眼に明々と映じたと云ふ所から、推測つて見まするに、什うやら其處に、理外の理が籠つて居さうにも思はれますやうで......。』

此處まで言ひさして、彌兵衛老人は、ぶる〳〵ッと身體を顫はせ、引詰めるやうに衣服の襟元を掻き合はしたのである。

新刊紹介

▲百人一首新解（大町桂月著）極めて平易に極めて適切に講義せるものにして字句の解釋は唯意味の通ずる迄に止め而して歌毎に其の良否を斷言せり我國の宮內歌技ともい稱すべき歷史ある歌留多も其の歌意を知らずして競技する者少なからず時節柄の好著と謂ふべし（四十錢東京市牛込區神樂町一の一東亞堂）

▲主婦日記（羽仁もと子著）各月の初めに其の月の日割表を設けて豫定を一目瞭然たらしめ日記欄は献立買物用並備忘の四欄に分ち隨時に記入し得る樣編纂し尙卷尾に主婦年間表衣類家具買入豫定表、贈答品、消耗品統計、家族健康表等を附したれば家事整理上便利なるべし（四十錢東京府雜司ヶ谷上り屋敷婦人之友社）

▲日本魂（新年號）儒教振興の急務（澁澤男）犧牲的觀念と宗教（石橋中將）基督教國に於ける男女間の交際（小崎弘道）日本魂鼓吹の一方法（日賀田男）茶道の第一義（高橋是清）日本佛教の特色（栗山信孝）等主として儒教振興に關する文字を满載し猶ほ人の鑑時事短評海外近事文苑等如例（二十錢東京市京橋區三十間堀三の七其社）

▲家庭料理禮法講義錄（新年號）料理法に就ては本誌記者日本料理の儀式料理より西洋、支那の料理に至る迄丁寧に說明し就中翌夜料理に意を用ひたり禮儀作法に就ては日常の座作進退接客訪問贈答其他の心得を主眼として說明し猶年中行事家事經濟等をも併せ收む（毎號月三十五錢東京市本郷區元町一の三東京割烹講習會）

▲少年倶樂部（新年壯快號）滑稽世界漫遊雙六、世界列强競走遊戯の二附錄あり讀物には新聞廣告、初衣公、岩石衛門の富財布、鐵橋破壞、毛利勝永等の各々腕指の說力、劍の豫潜、少年飛行家、系福田等の讀者諸上新年會及び新懸賞募集を發表せり（二十錢東京市本郷區駒込坂下町大日本雄辯會）

▲少年（新年號）西洋史談の番馬の千人力、冒險小說の神國の密使、冒險小說の少年材學家、少年小說の捲れた學校、野球小說の大投手の努力及び刑事を設けて壯烈に闘つた新虎少年等を始めさして懸賞問題には是ば誰の網がありも附錄には樂天筆の心鼓に在らされば少年諸君の許紙に入るもの計り（十六錢東京市京橋區南鍋町二の一二時事新報社）

▲青年文壇（新年號）文章の指導（馬場孤蝶）京洛の秋（新川露風）思想に裏付ける哲學（大住嘯風）新小說作法（田山花袋）大正六年小說界概調（天眠郎生）此小說には上司小劒の蛇の讃小野美智子の純心、鵜故白花の三人川瀬政治郎の其の日、大樹冥界の歡愁の女等の外論文、評論文、長詩、散文、短文、和歌、俳句の各欄特に充實せるを見る（特價二十四錢東京市牛込區神樂町一の一東亞堂雜誌部）

▲家庭料理講義錄（松之舍新年號）日本料理科には新年料理、重詰料理の種々、諸國の名物等あり西洋料理には一品料理製法あり其他支那料理科、和洋菓子科、日用漬物法、酒肴佐物學及び禮儀作法等如例季節に應じたる好箇の記事を收む（毎號月二十五錢東京市本郷區元町一の三東京割烹講習會）

▲新少年（新年號）輕快なる小說講談に趣味豐かなる教育的の新智識を籍み且興味ある如き新案大懸賞等を語趣す殊に異彩を放てるは長岡中將の綜鑑誉とせる森川鐵建設會の大話國及び日本十大偉人投票、鄉土の詩の二懸賞にして銀時計臨時年等數百名の入賞ある由附錄は（十二錢東京市神田區錦町平和出版社）

▲人文（新年號）日本主義と精神（山川智應）平安朝の文化（佐々醒雪）教育上より見たる新佛教（高島米峰）等あり（二十錢東京市小石川區白山御殿町一一七四人文會）

▲婦女界（新年特別號）新婚旅行の利害得失（鳩山春子）教育式結婚案（井上通泰）外玩ての鑑選入（江見水蔭）の說 我が家の喜び等なる題下に於ける八名諸家の夢想等の感想外數篇ある（二十錢東京市牛込區市ヶ谷加賀町婦女界社）

▲飛行少年（新年號）五大小說及び附錄として讀者より募集せる五大戰爭物語は本誌の特別にして頗る鍛錬、東京人雙六等あり（十六錢東京市京橋區本八丁堀日本飛行研究會）

▲小供之友（新年號）ロシントン一代記其の他の面白い物語や子供新聞天上のお正月などの外附錄の附錄も有ます（十二錢東京府雜司ヶ谷上屋敷一一四八婦人之友社）

▲トモダチ（新年號）鳳鳴げ、初荷、加留多、凧羽根などの美しい繪やお伽噺、ポンチ繪等の外お伽畫スゴロクがあります（十二錢東京市麹町區富士見町一、二葉社）

▲日の丸（新年號）樂しいお正月を迎へた日の丸の面白い遊びごとや日用佐い催しの繪が澤山で面白い遊びごとやお話があります（八錢東京府雜司ヶ谷東エビス文敎社）

▲日本幼年（新年號）初日の出大相撲などの折返し繪を初め御正月の色々の繪ばなし、ポンチ繪に附錄の御正月スゴロクがあります（十二錢東京市京橋區疊町一東京社）

讀者の領分

▲今年は糯米が莫迦に不廉いので何處へ行つても去年より餅の搗き方が尠い否今年の搗き方が尠い否もとでいかね▲何處の町內でも祭典寄附金を公示してあるが僕の町內は何故掲示しないのだ町總代のお答が聞き度し（憤慨生）▲此間或所で骨董品の入札があつた時過大の入札をして置きながら代金を仕拂はずあまつさへ札元が旅先なのに付込み多大の損害を與へた自稱骨董商があつた札元も泣寢入だとは氣の毒に（ヒネクリ屋）▲新年の趣向は地方に依り多種あり各階級を通じて其の好む處に應じてそれ相當の愉快はあらうが吾人殖民地に在る者は一般的に芽出度い新年を記念する爲めに貴係に於て繪葉書交換會の如き氣拔な而かも面白き趣向のものを計畫せられては如何（田吾作生）▲考へて見ませう（系）

補血强壯人參葡萄酒 ← 以下廣告

御料 御園白粉

外國でも御園白粉

英國の倫敦、佛國の巴里乃至は米國の華盛頓と申すやうな世界の都では國々の美人が時世粧の美しい服裝に美しい化粧に裝を凝らして、夜會とか觀劇とか其他種々の會合に集まられます。其樣な場所へ日本の外交官とか紳士紳商の御夫人御令孃が御出席になります場合に、服裝は當時の流行の粹を盡した美服を召しましても御化粧だけは外國の御化粧品では思ふやうに參りませぬ所から皆樣が御園化粧品を御愛用遊ばします　何に致せ御園化粧品は日本の御婦人の肌に合ふやうに調製へてありますので、日本の御婦人のおいでになります所は世界中に御園白粉が行き渡つて居ります、所が不思議な事には日本の御婦人の御化粧が美しいと云ふので近頃外國婦人にも御園白粉の愛用者が段々增へて註文が引切りなしに參るやうになりました。

御料御園白粉本舗　伊東胡蝶園

御料御園白粉發賣元　丸見屋商店

(212)

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版亞鉛凸版　京城日報社　寫眞製版部

贈答品　進物用好適品

補血强壯　人參葡萄酒　名譽金牌受領

賛化病院　京城本町二丁目　電話二四二番
醫學博士　古城憲治
同　醫學士　上野亮藏
內科　小兒科　入院隨意　無料施療す　毎日五名を限り

りん病　ばい毒　請合藥
詳細ハ昨日ノ本紙ヲ御覽・ニセ物アリ御注意・
京城南大門外停車場通り　大ドラッグ商會滿鮮部

大邱浦項間自動車時間
上り　浦項發前六時　大邱着後[illegible]
下り　大邱發前六時　浦項着後[illegible]
永川、慶州、安康各同（時刻[illegible]）
電話七十番

大塚農場自動車部　大邱出張所　電話二一七番

金泉醴泉間自動車發着時間
上り　金泉發前八時　醴泉着後[illegible]
下り　醴泉發前[illegible]　金泉着後[illegible]
（尙州、咸昌、龍宮各發著時刻[illegible]）

金泉織居自動車支部　金泉電話四八番
▲小荷物運搬仕り候

日本郵船仁川出帆
○大連行、秦皇島行　三河丸　六年一月一日正午出帆
相模丸　一月十日正午出帆
西砂丸　一月廿一日正午出帆
○芝罘、大連、青島行　江原丸　一月　日前十時出帆
仁川海岸町十一丁目　電話　堀　回漕店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行　立神丸　月　日後五時出帆
小倉丸　月　日後五時出帆
山清津、浦鹽行　月　日
立神丸　月　日後十時出帆
小倉丸　月　日後四時出帆
元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　月　日後六時出帆
門司、神戸、大阪行　第三平安丸、第三平安丸　月
佐須奈、厳原、壹岐、博多行　天草丸　毎月二日九日十六日廿三日（午後十時出帆）
釜山港埋立新町　木郵取扱店　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大有丸　十二月卅一日後四時出帆
○秀吉丸　一月　日後四時出帆
○君が代丸　一月六日後四時出帆
○順代丸　一月　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　杉回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航路所に就ては日本航路を除く外航路出帆日の一日前五時迄取扱
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行　大智丸　一月五日
×天智丸　一月二日後五時出
×濟州丸　一月八日
○木浦、釜山、廣島、宇品行　信濃川丸　十二月卅一日正午出帆
×信濃川丸　一月十七日後二時出
×群山、釜山、長崎行　福州丸　十二月卅一日後二時出
△濟州丸　一月十一日
○鎮南浦、大連行　信濃川丸　一月三十日後二時出
×信濃川丸　一月十三日
△濟州丸　一月　六日
×羅州丸　十二月　日正午出帆
○木浦、神戸、大阪行　安東丸　十二月卅九日正午出帆
×上海行（滯留天津行寄港）一月十四日後二時出
○鎭南浦行（天津行）
△台灣行　一月十一日後二時出
△仁川、芝罘、天津行　基隆丸　一月十一日午後四時出
△上海、打狗行（大連出帆）
○北丸　一月十一日午前六時出
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店（電話二一五〇番）
京城切符發賣所　內國通運會社支店（電話一〇七八番）
○中國四國沿岸各港客船に對し一等切符を以て切符發賣致す

共同汽船仁川出帆
第共同丸　十二月三十日正午出港
○芝罘、大連行
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　木町四丁目（電話一七三番）　野口商會
元山代理店　春日町（電話二四番）　田口回漕部
京城取次店　南大門（電話二六八〇）　河村運送店

朝鮮郵船出帆
鐵道會社及社外船と荷客連絡輸送の便あり詳細は支店出張所代理店荷客取扱店に御照會願候
本社　京城南大門驛前　京城荷客取次店　松原運送店（電話一七〇番）
○○○○全羅丸、京畿丸、黄海丸、成鏡丸　十二月卅一日、一月四日、一月十日、十二月卅一日　釜山發
（門司より釜山各港寄港）
○○○　漢城丸、昌平丸、鏡城丸　一月二日、一月八日、一月五日　元山發
（元山より各港寄港）
○平壤丸　月　日　元山發
城津、清津より長崎行
○西徳丸　十二月　日　釜山發
○○江陵丸、襄陽丸　毎　日　浦項、釜山發
○三浪丸　十二月　日　釜山發
○○海州丸、統營丸　○○甲流丸、慶徳丸　毎日　釜山發
○順天丸　二日目毎に　木浦發
○慶興丸　十二月　日　木浦發
○慶興丸　一月二日　木浦發
○公州丸　十二月　日　木浦發
○宗信丸　十二月　日　仁川發
○江原丸　十二月　日　仁川發
○○麗水丸、晋州丸　一月二日、十二月　日　仁川發
○全州丸　毎日午前　仁川發
○南陽丸　江華島、喬桐島、海州行